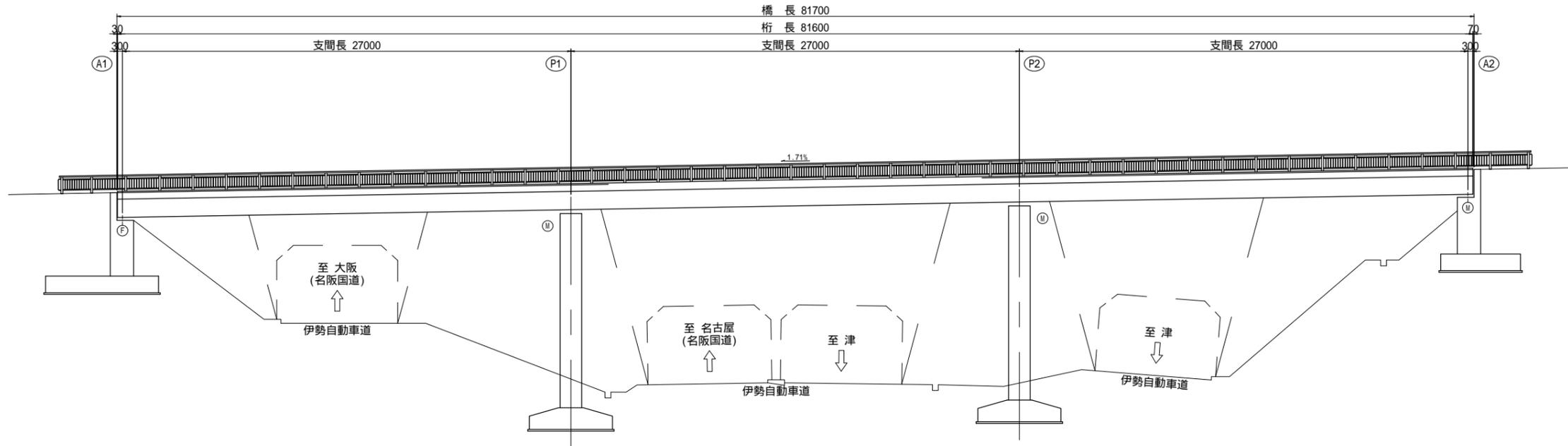
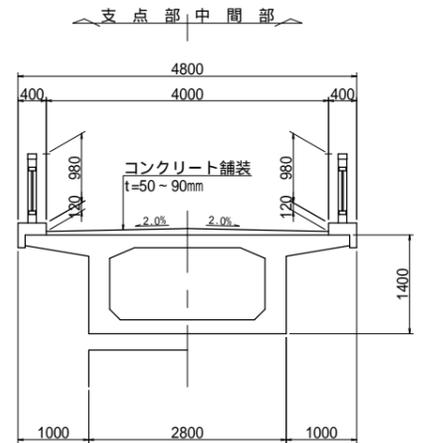


立谷橋 現況一般図 縮尺 1:150

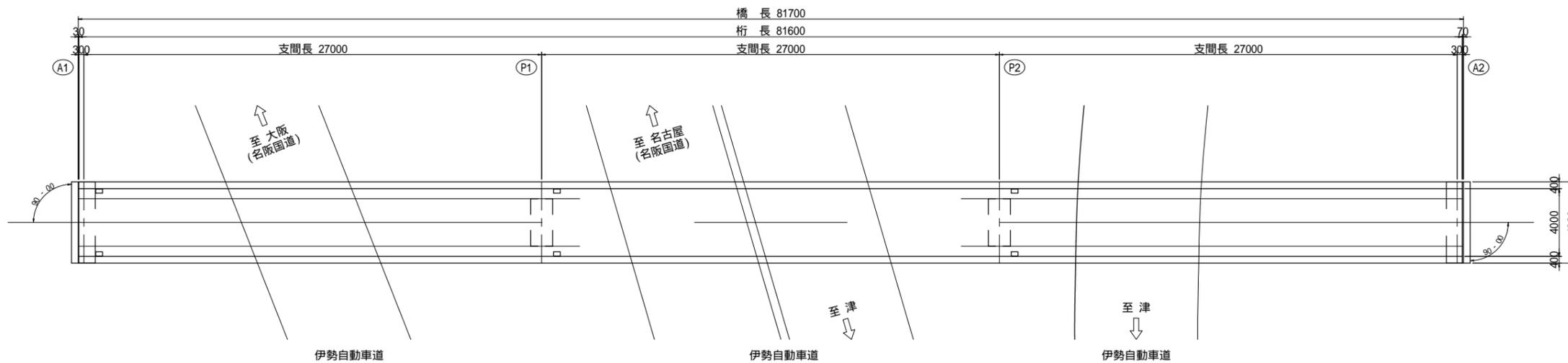
側面図



断面図 S=1:50



平面図

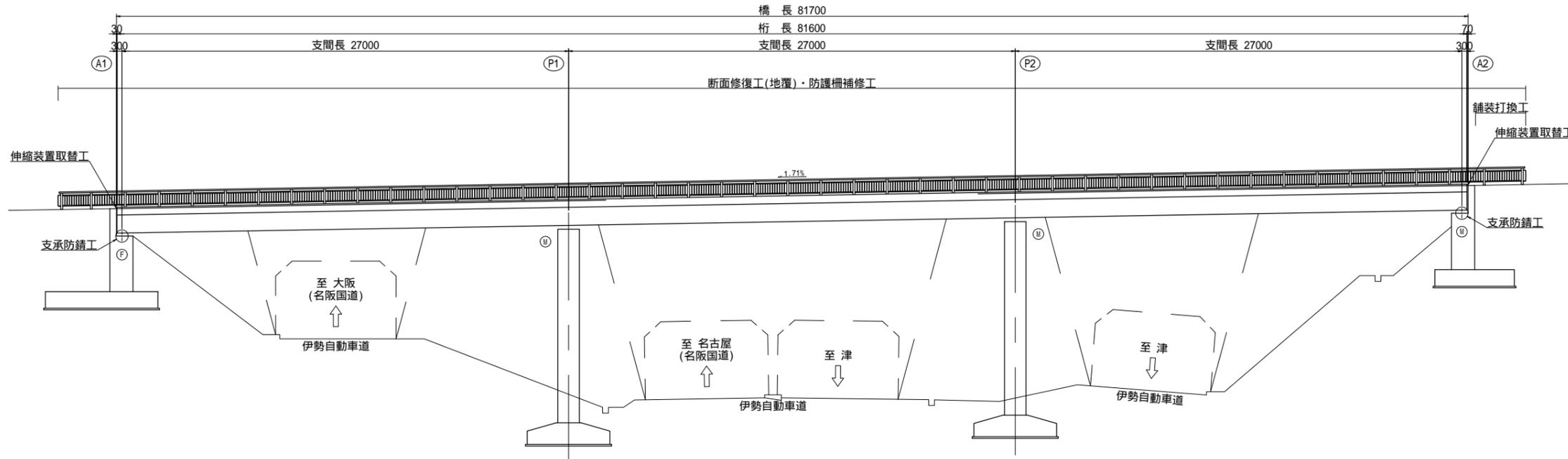


工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	立谷橋 現況一般図		
作成年月日			
縮尺	1:150	図面番号	1/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

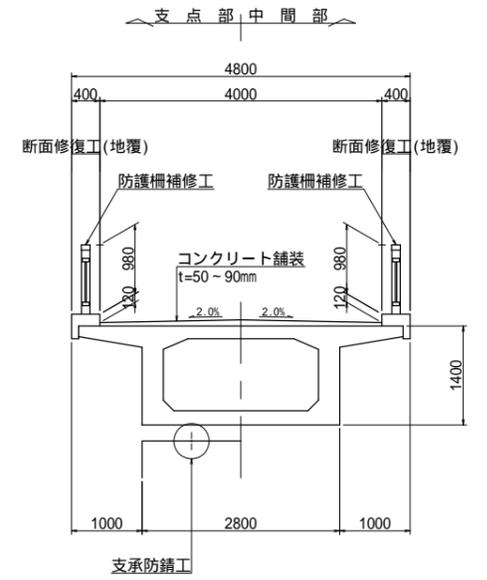
現況線は竣工図書からのトレースであるため、現地で確認を行ってから施工を行うこと。

立谷橋 対策一般図 縮尺 1:150

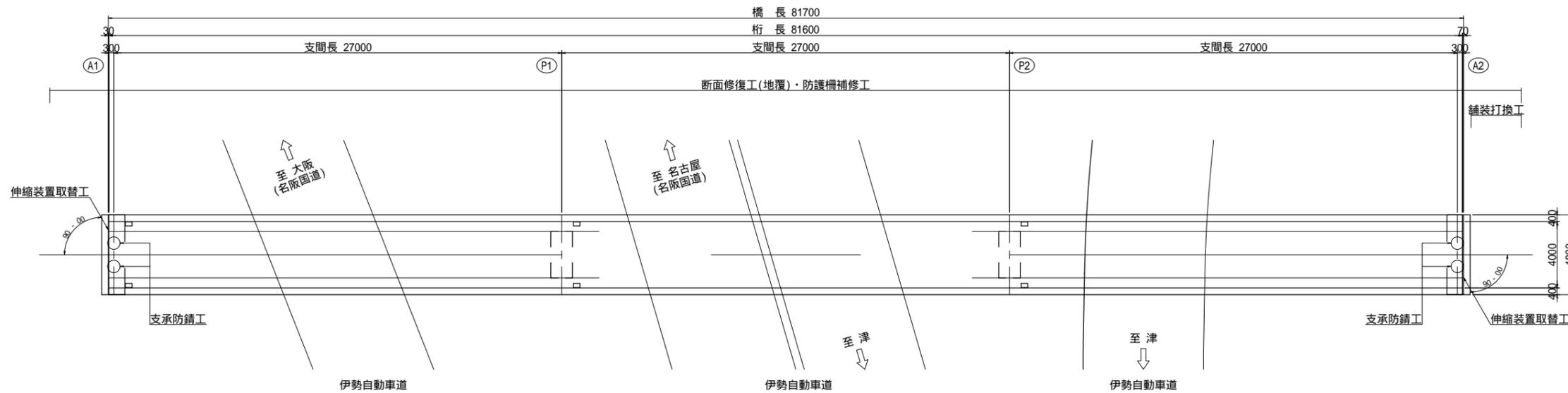
側面図



断面図 S=1:50



平面図



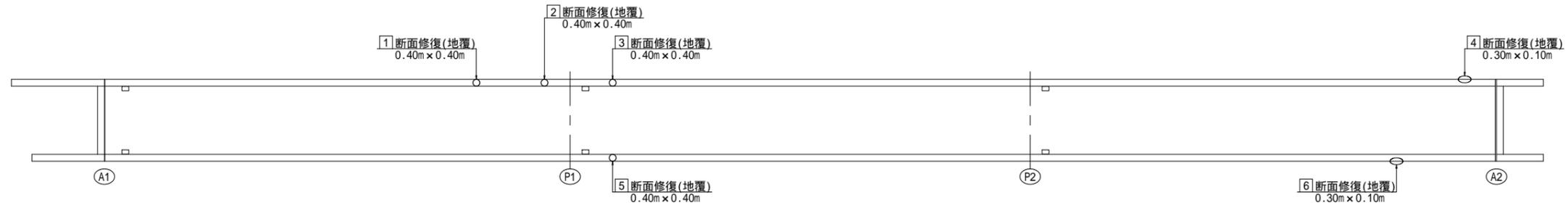
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	立谷橋 対策一般図		
作成年月日			
縮尺	1:150	図面番号	2/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

現況線は竣工図書からのトレースであるため、現地で確認を行ってから施工を行うこと。

立谷橋 補修図(その1) 縮尺 1:150

断面修復工

橋面図



凡例	
ひびわれ	←←←←←
遊離石灰	○
剥離	○
漏水	○
鉄筋露出	○
豆板・空洞	○
その他	○

断面修復(上部工)

位置	損傷寸法 (m)	箇所	面積 (m ²)
【橋面】			
1	0.40 × 0.40	1	0.160
2	0.40 × 0.40	1	0.160
3	0.40 × 0.40	1	0.160
4	0.30 × 0.10	1	0.030
5	0.40 × 0.40	1	0.160
6	0.30 × 0.10	1	0.030
小計			0.700
合計			0.700

はつり深さは3cmと想定

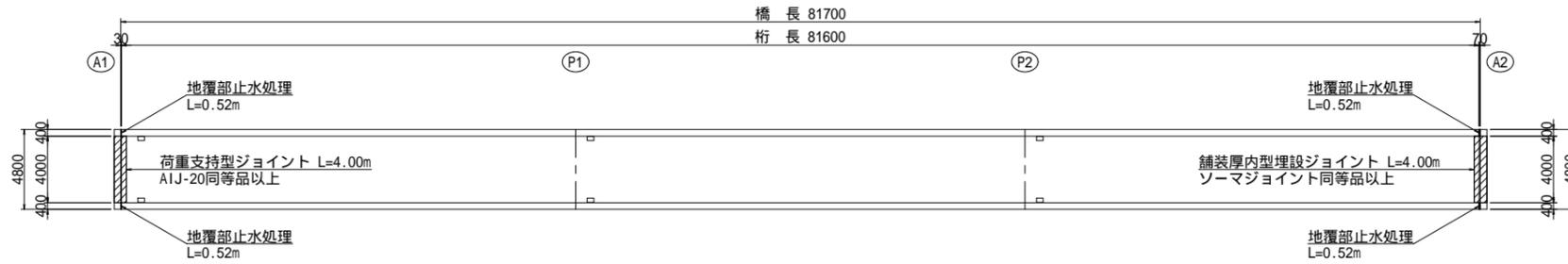
損傷位置・個数は点検調査に沿って示している。
同様の損傷が他の箇所でも確認された場合、同様に補修を行うこと。

工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	立谷橋 補修図(その1)		
作成年月日			
縮尺	1:150	図面番号	3/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

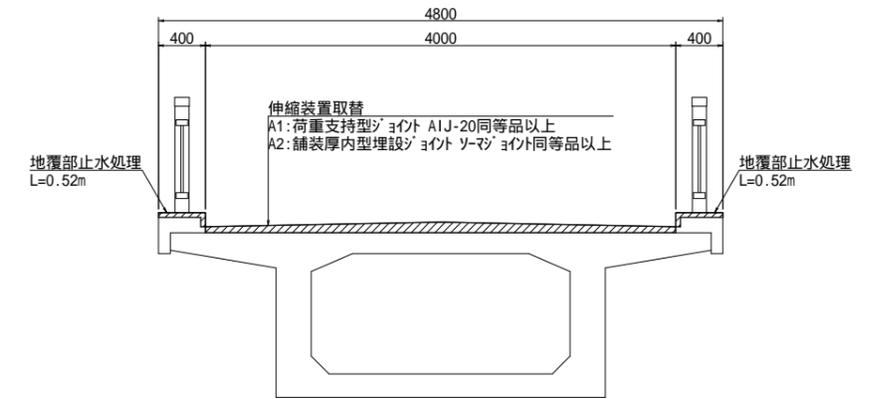
注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

立谷橋 補修図(その2) 縮尺図示 伸縮装置取替工

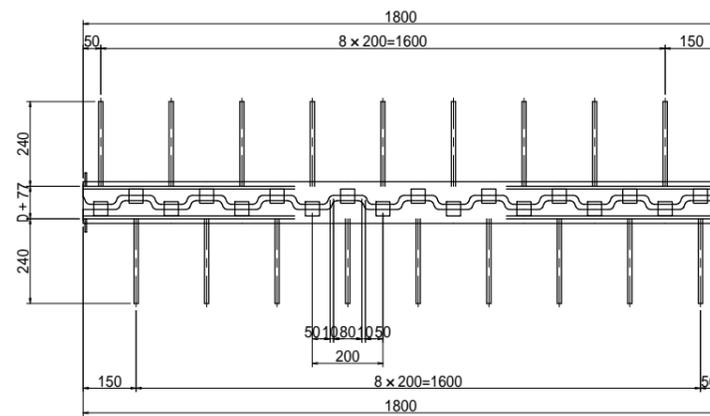
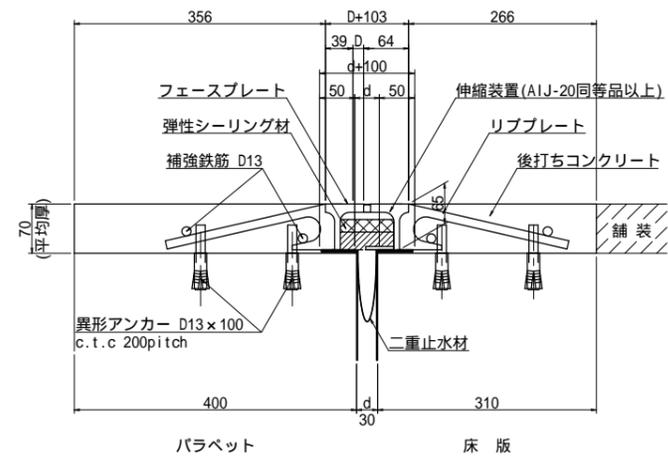
平面図 S=1:200



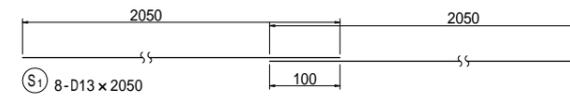
断面図 S=1:30



伸縮装置詳細図 S=1:5,10
A1橋台: AIJ-20同等品以上



鉄筋加工図

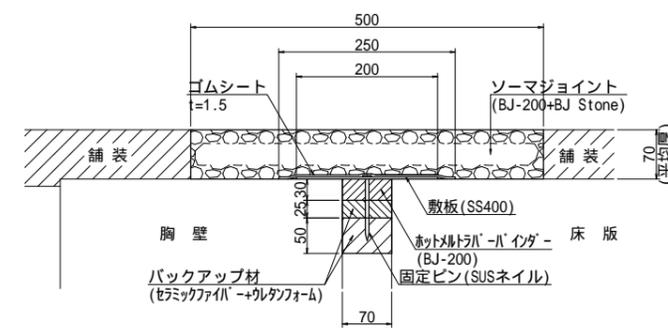


伸縮装置取替数量表 A1橋台

名称	規格	単位	数量	摘要
荷重支持型ジョイント	AIJ-20同等品以上	m	4.00	二重止水装置付き
鉄筋	SD345 D13	t	0.016	
後打ちコンクリート	超速硬コンクリート	m ³	0.2	3h=24N/mm ²
異形アンカー	D13 x 100	本	80	

- 注記
1. ジョイントのタイプ及び配筋計画は、現地状況によって変わる。
 2. 既設伸縮装置撤去時ののはり高は、現地状況に応じて決定すること。
 3. ジョイントセット遊間Dは施工時の温度及び床版遊間dにより調整すること。
 4. 既設ジョイント撤去時バラベツ及び床版の脆弱な箇所は全て切りとること。
 5. 床版遊間は現地調査の上調整すること。
 6. ジョイントの裏込幅及びバラベツ幅は現地調査の上調整すること。

A2橋台: ソーマジョイント同等品以上

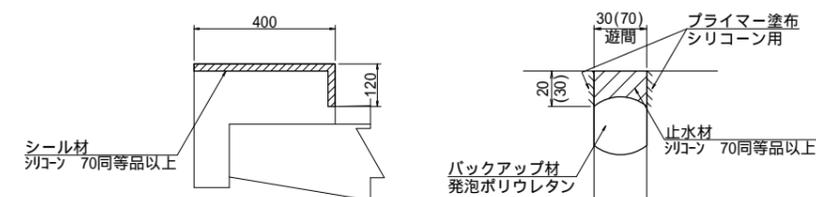


伸縮装置取替数量表 A2橋台

名称	規格	単位	数量	摘要
舗装厚内型埋設ジョイント	ソーマジョイント同等品以上	m	4.00	敷板 W=250

- 注記
1. ジョイントのタイプは、現地状況によって変わる。
 2. 既設伸縮装置撤去時ののはり高は、現地状況に応じて決定すること。
 3. 既設ジョイント撤去時バラベツ及び床版の脆弱な箇所は全て切りとること。
 4. 床版遊間は現地調査の上調整すること。

地覆部止水処理詳細図 S=1:10,1:2



()内の値はA2橋台部での寸法を示す。

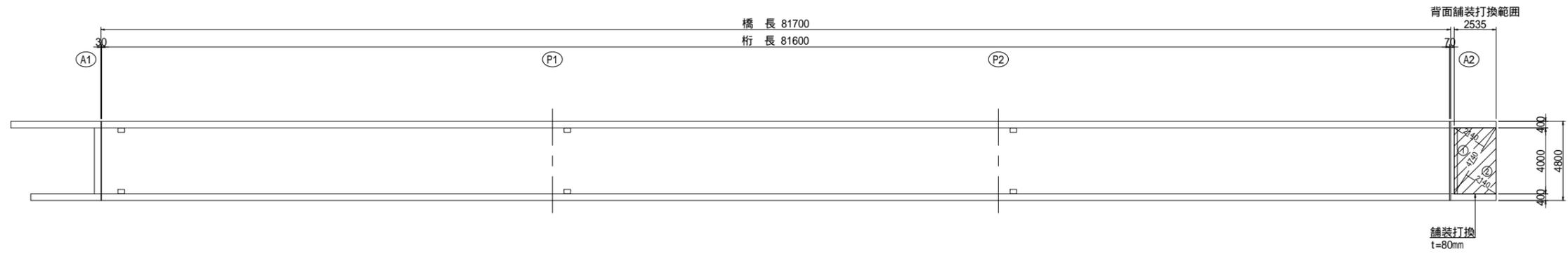
注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事
図面名	立谷橋 補修図(その2)
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 4/32
会社名	
事業者名	亀山市土木課

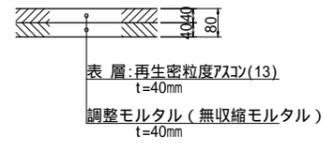
立谷橋 補修図(その3) 縮尺 1:150

舗装打換工

平面図



道路部舗装構成図 S=1:10



舗装構成は現況舗装を
確認後決定すること。

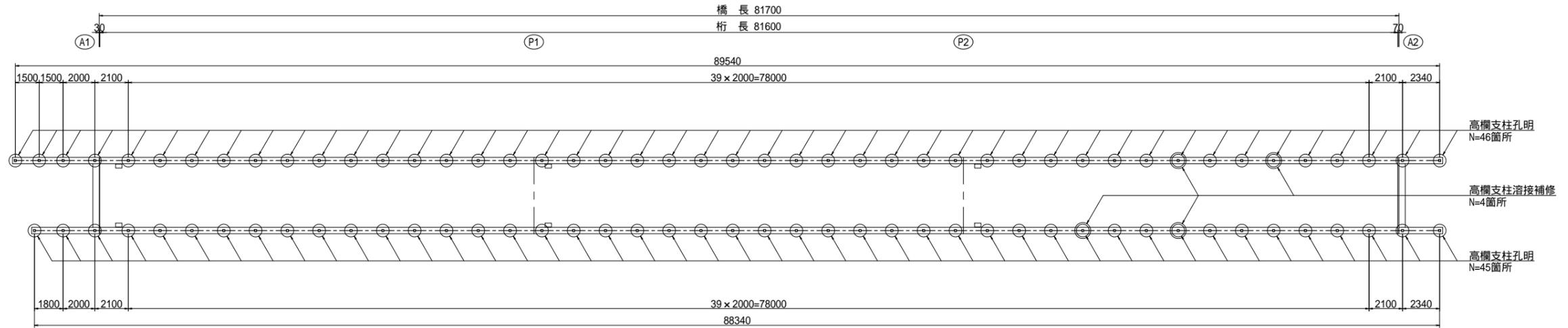
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	立谷橋 補修図(その3)		
作成年月日			
縮尺	1:150	図面番号	5/32
会社名			
事業者名	龜山市土木課		

注記 1.各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

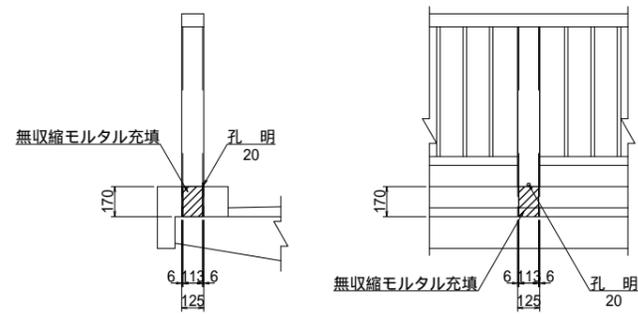
立谷橋 補修図(その4) 縮尺 1:150

防護柵補修工

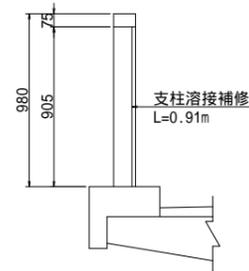
平面図



高欄支柱孔明詳細図 S=1:20



高欄支柱溶接補修詳細図 S=1:20



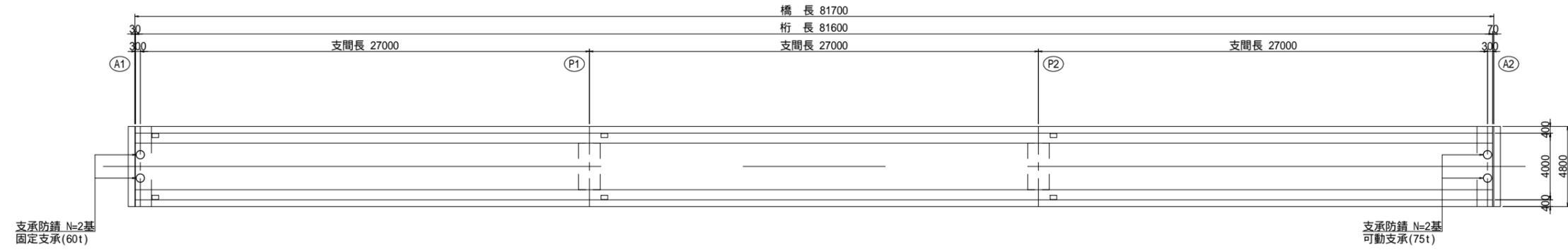
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	立谷橋 補修図(その4)		
作成年月日			
縮尺	1:150	図面番号	6/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

立谷橋 補修図(その5) 縮尺 1:150

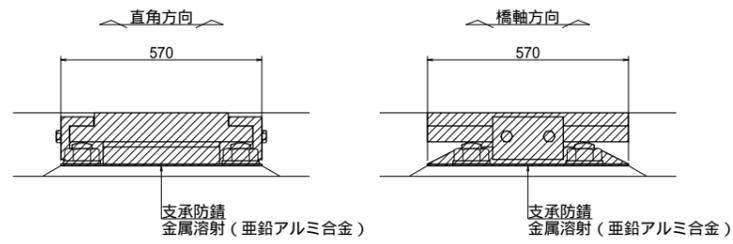
支承防錆工

平面図

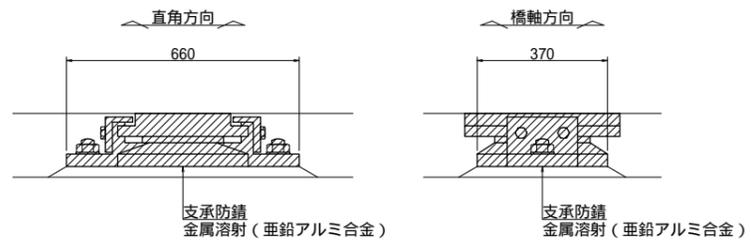


支承防錆詳細図 S=1:10

A1橋台(固定 60t)



A2橋台(可動 75t)

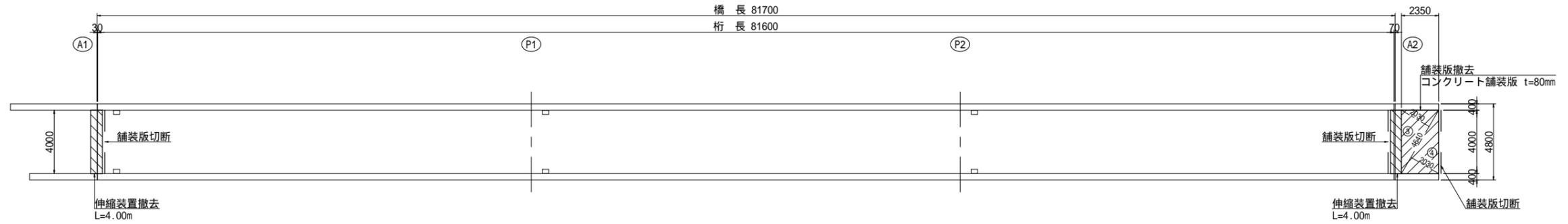


工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	立谷橋 補修図(その5)		
作成年月日			
縮尺	1:150	図面番号	7/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

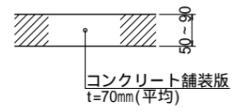
注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

立谷橋 撤去図(その1) 縮尺図示

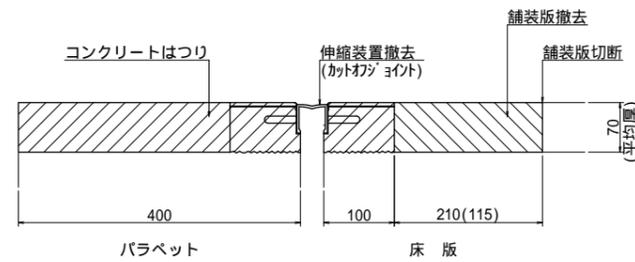
伸縮装置・舗装撤去 S=1:150



橋面舗装詳細図 S=1:10

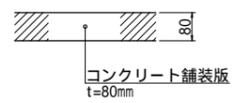


既設伸縮装置詳細図 S=1:5



: コンクリートはつり ()内の値はA2橋台部での寸法を示す。
 : 舗装版撤去

道路部舗装詳細図 S=1:10

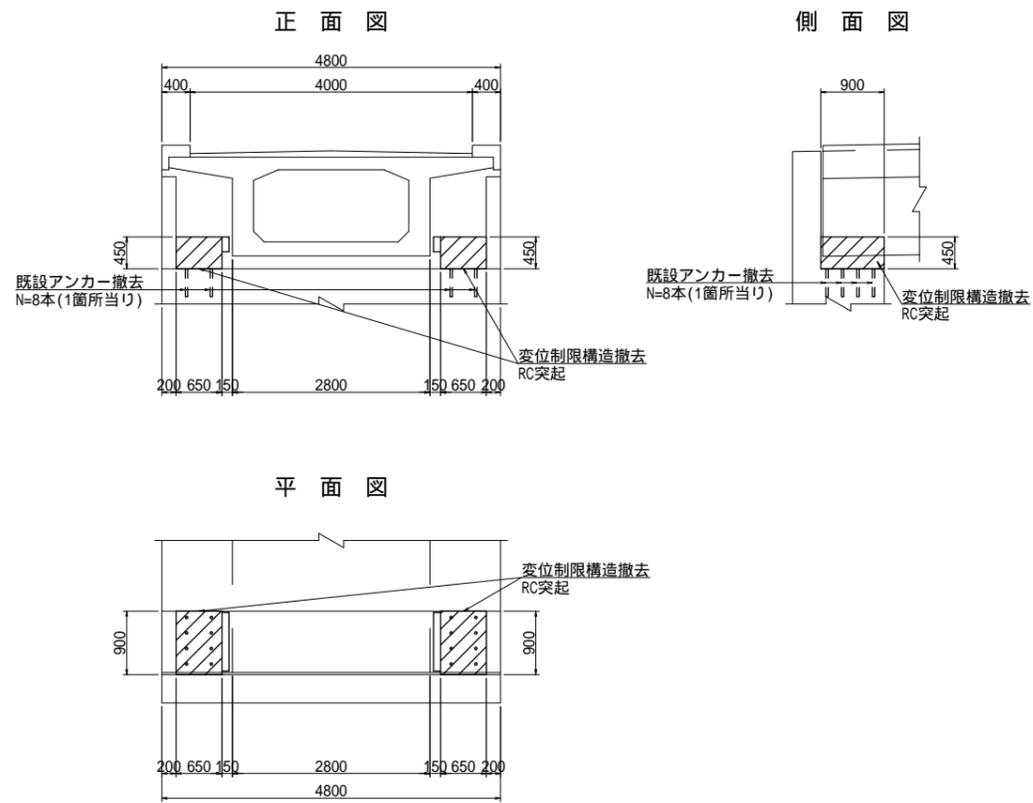


工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	立谷橋 撤去図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	8/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

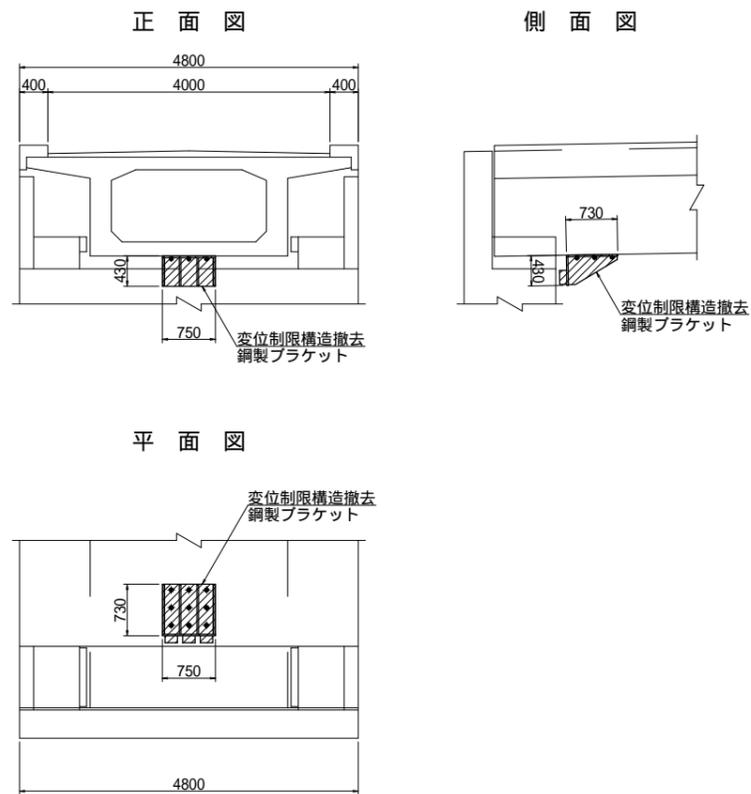
注記 1.各部分法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

立谷橋 撤去図(その2) 縮尺図示

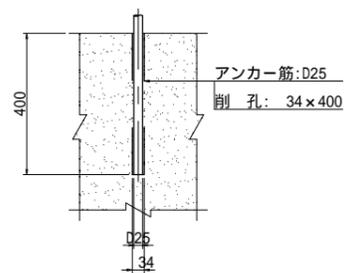
変位制限構造撤去詳細図 S=1:50
(RC突起)



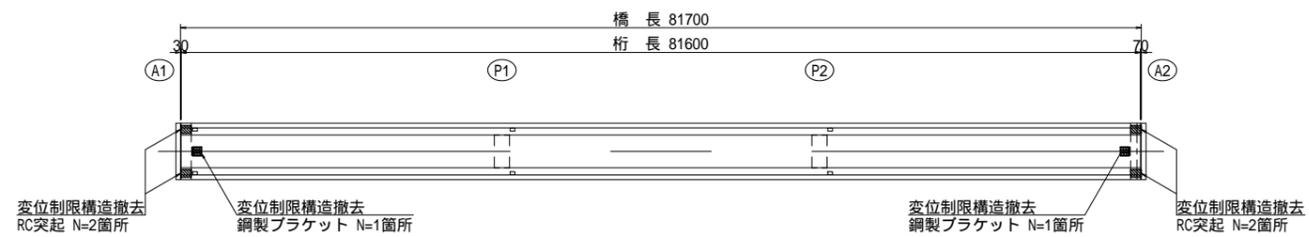
変位制限構造撤去詳細図 S=1:50
(鋼製ブラケット)



既設アンカー撤去詳細図 S=1:10



位置図

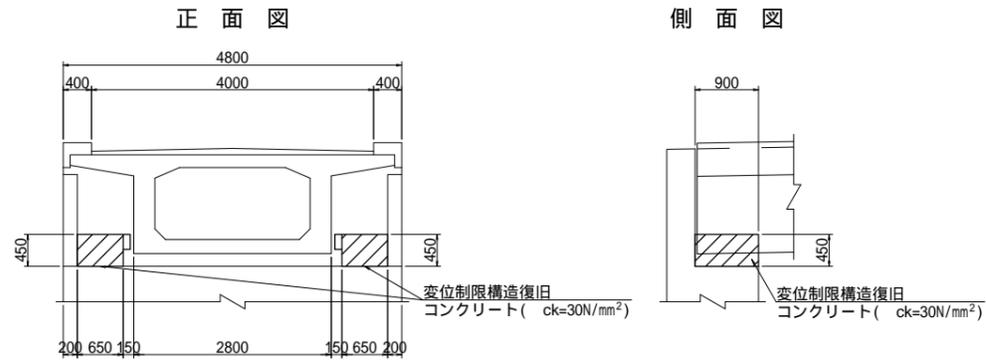


注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

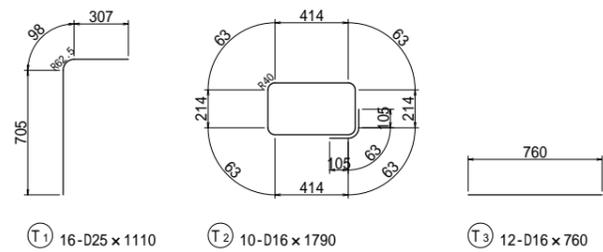
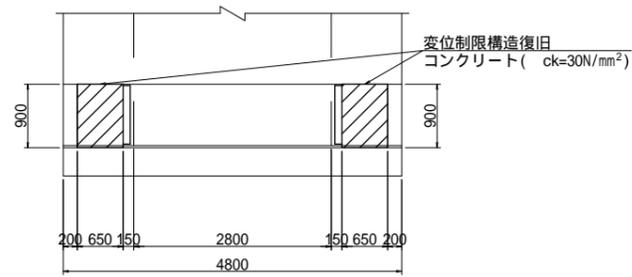
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	立谷橋 撤去図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	9/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

立谷橋 復旧図(その1) 縮尺図示

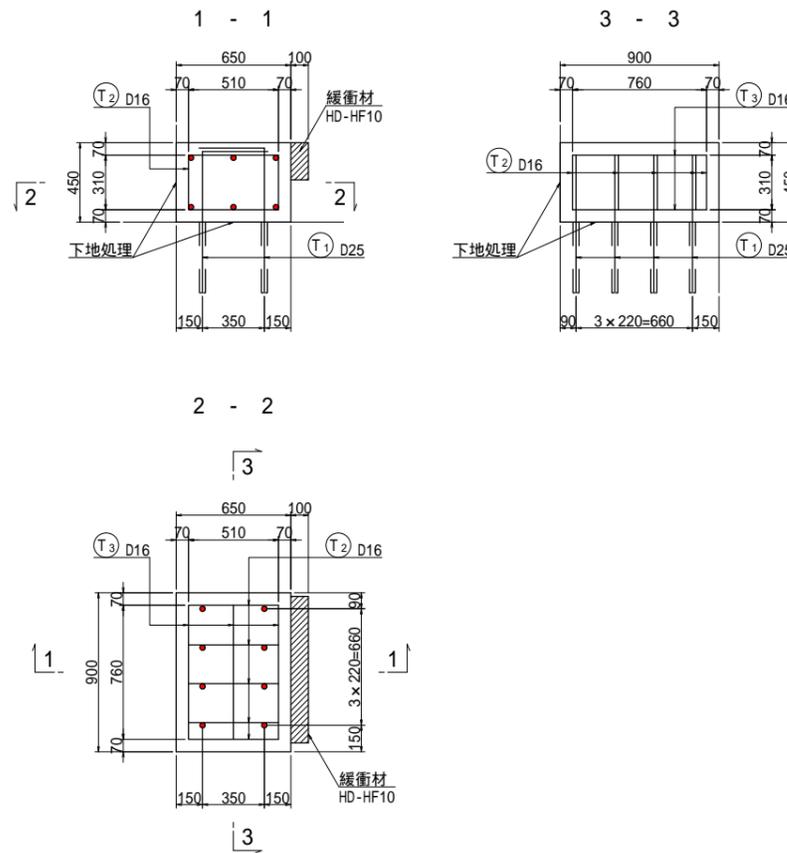
変位制限構造復旧詳細図 S=1:50



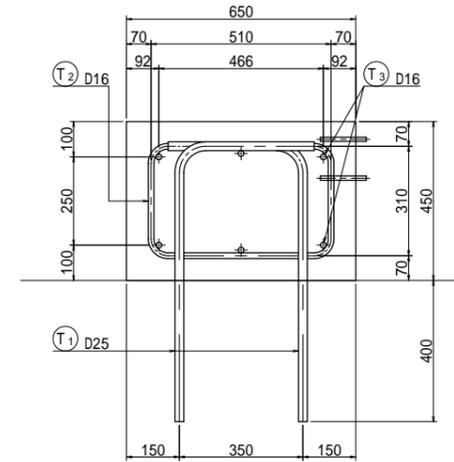
平面図



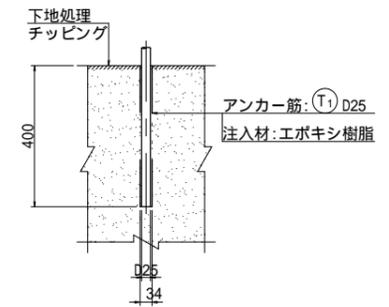
変位制限構造配筋図 S=1:20



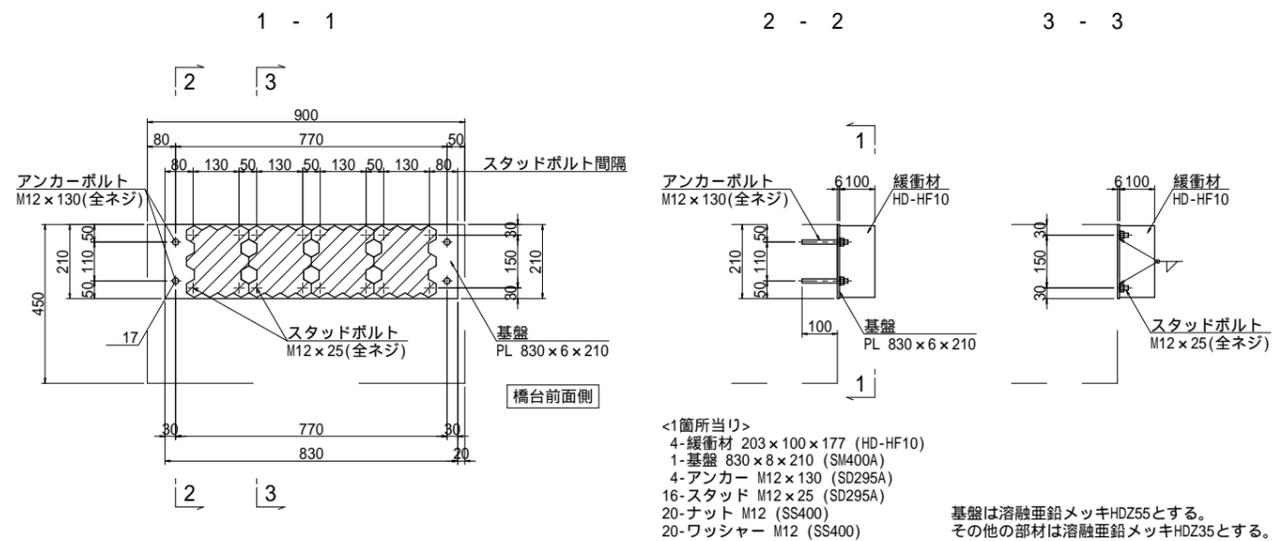
鉄筋組立て図 S=1:10



アンカー定着詳細図 S=1:10



緩衝材取付詳細図 S=1:10



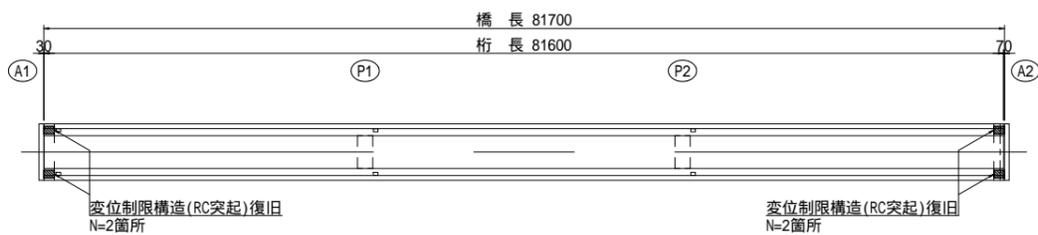
- <1箇所当り>
 4-緩衝材 203 x 100 x 177 (HD-HF10)
 1-基盤 830 x 8 x 210 (SM400A)
 4-アンカー M12 x 130 (SD295A)
 16-スタッド M12 x 25 (SD295A)
 20-ナット M12 (SS400)
 20-ワッシャー M12 (SS400)

基盤は溶融亜鉛メッキHDZ55とする。
 その他の部材は溶融亜鉛メッキHDZ35とする。

鉄筋質量表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
T1	D25	1110	16	3.98	4.42	71	┌
2	D16	1790	10	1.56	2.79	28	┐
3	"	760	12	"	1.19	14	└
113 kg							
鉄筋材質:SD345							
2橋台当り							
						D25	71 kg 142 kg
						D16	42 " 84 "
						合計	113 kg 226 kg

位置図



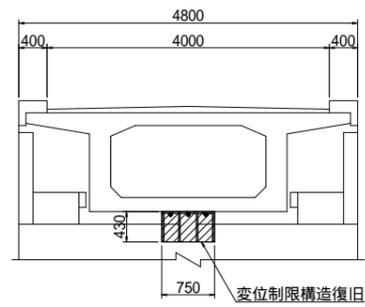
注記 1.各部分法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	立谷橋 復旧図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	10/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

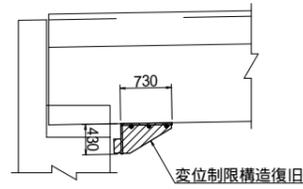
立谷橋 復旧図(その2) 縮尺 1:50

変位制限構造復旧詳細図

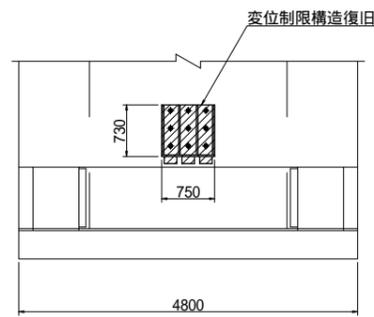
正面図



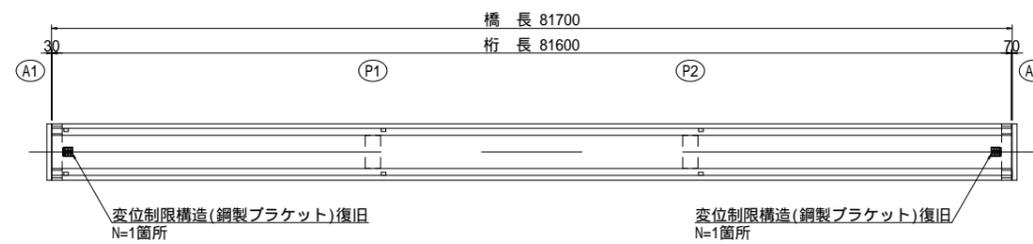
側面図



平面図



位置図

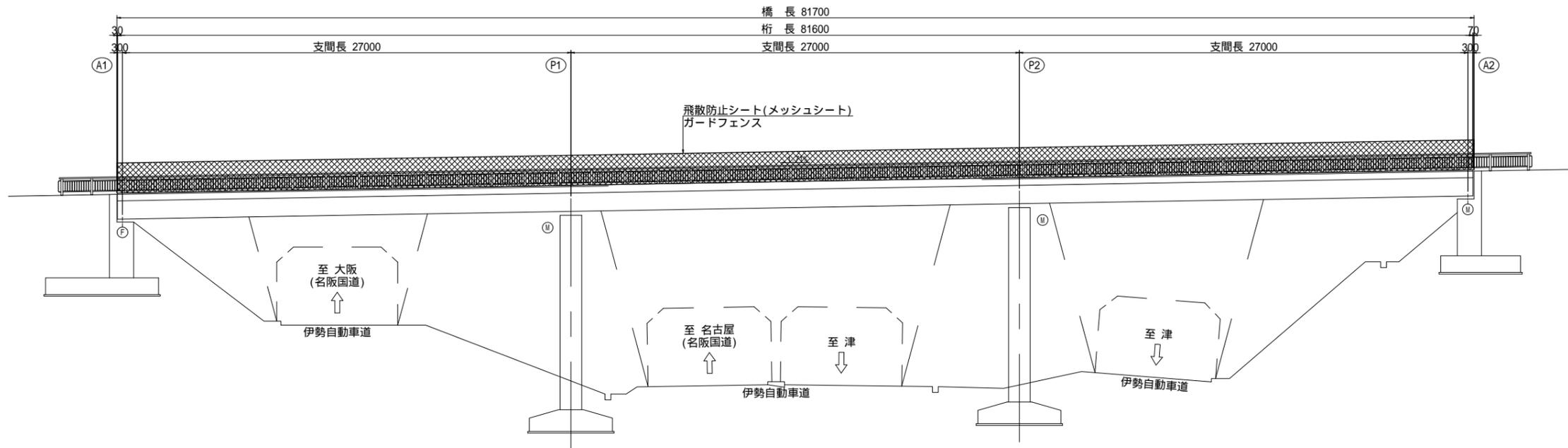


工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	立谷橋 復旧図(その2)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	11/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

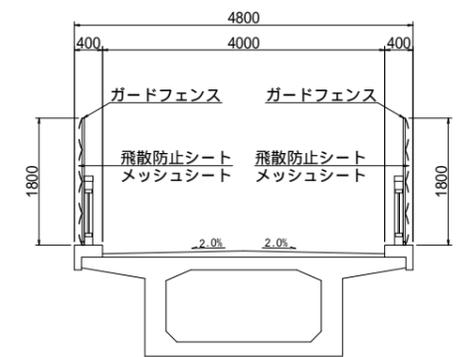
注記 1.各部分法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

立谷橋 仮設図 縮尺 1:150

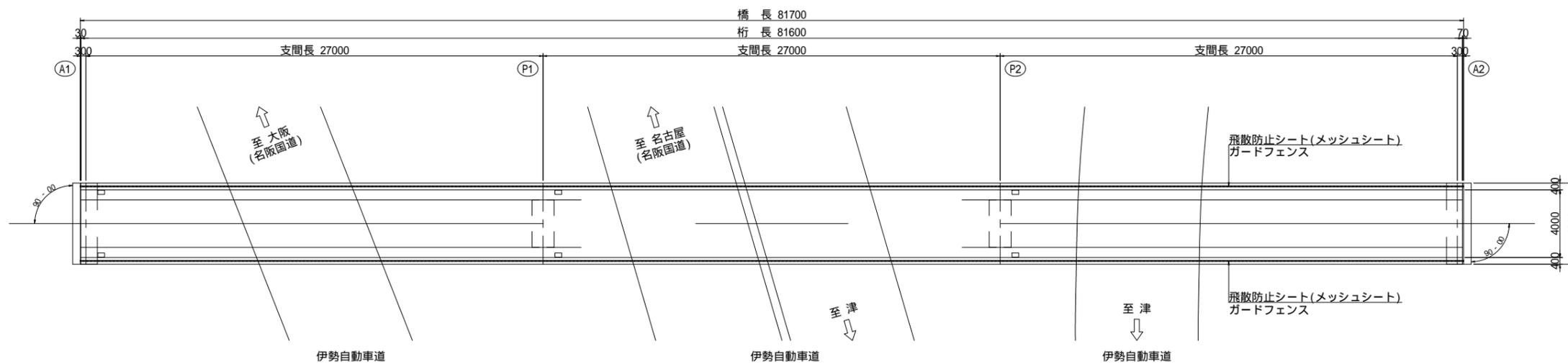
側面図



断面図 S=1:50



平面図

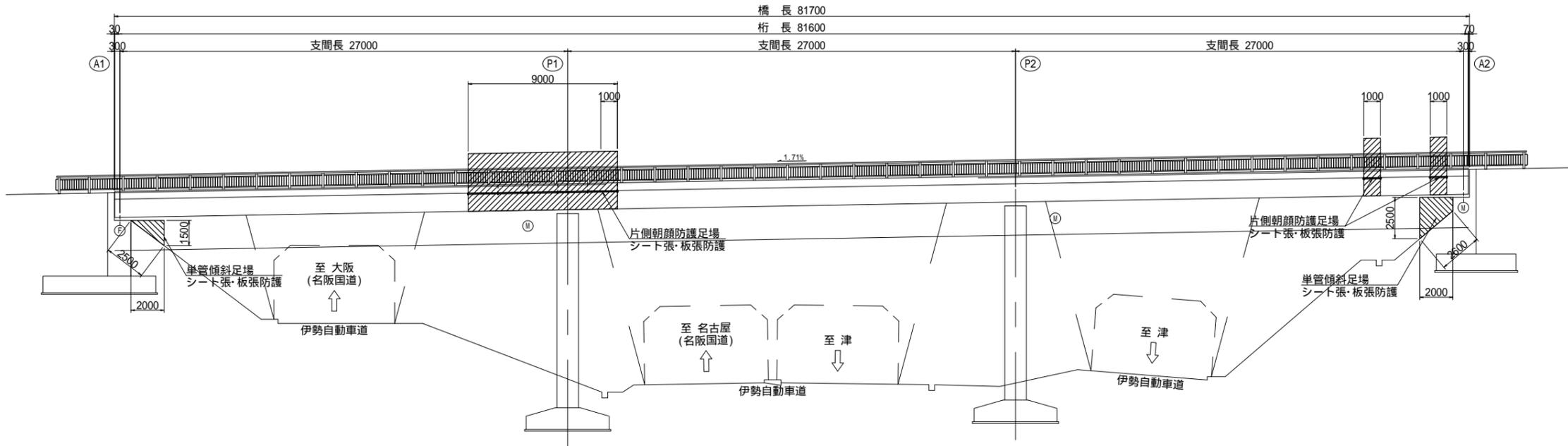


工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	立谷橋 仮設図		
作成年月日			
縮尺	1:150	図面番号	12/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

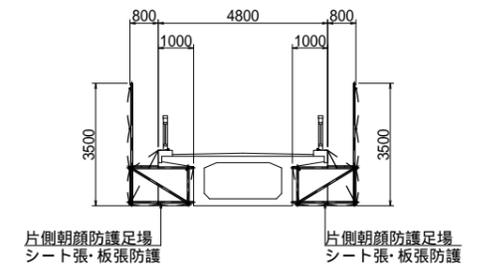
立谷橋 足場工図 (参考図)

縮尺 1:150

側面図

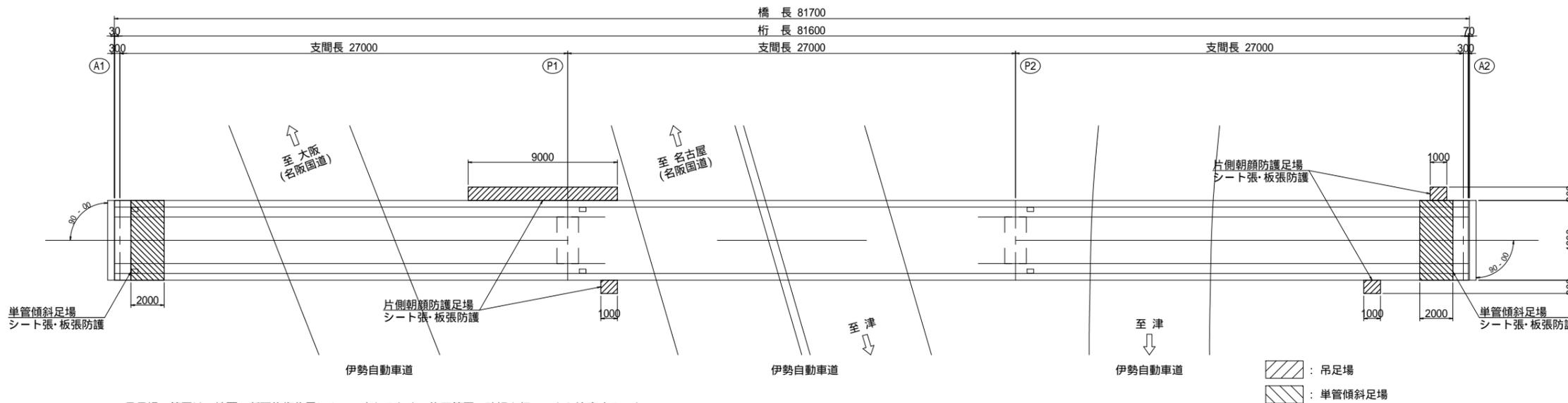


断面図 S=1:100



交差道路通行車から作業が見えないよう、足場端部にもシート張・板張防護の設置を行うこと。

平面図

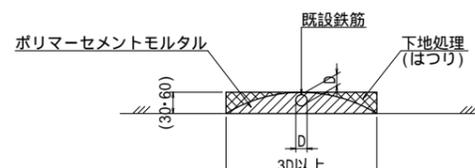
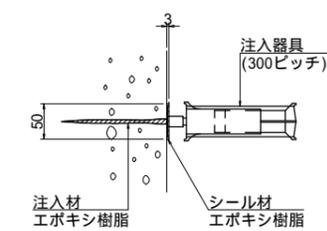
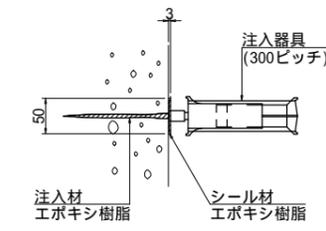
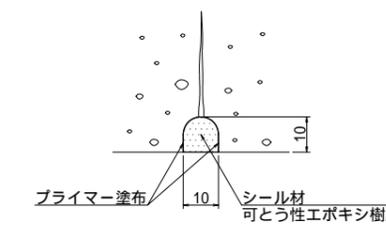


吊足場の範囲は、地覆の断面修復位置によって変わるため、施工範囲の確認を行ってから決定すること。

- 注記 1. 足場設置時は、現地の建築限界を確認の上、行うこと。
 2. 足場設置期間中、足場側面に下端位置を示す保安灯(すずらん灯)、頭上注意、桁下高を示す看板等を設置すること。
 3. 足場設置時、施工時には、桁下高等の注意を促す工事予告看板等を設置すること。

工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	立谷橋 足場工図(参考図)		
作成年月日			
縮尺	1:150	図面番号	13/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

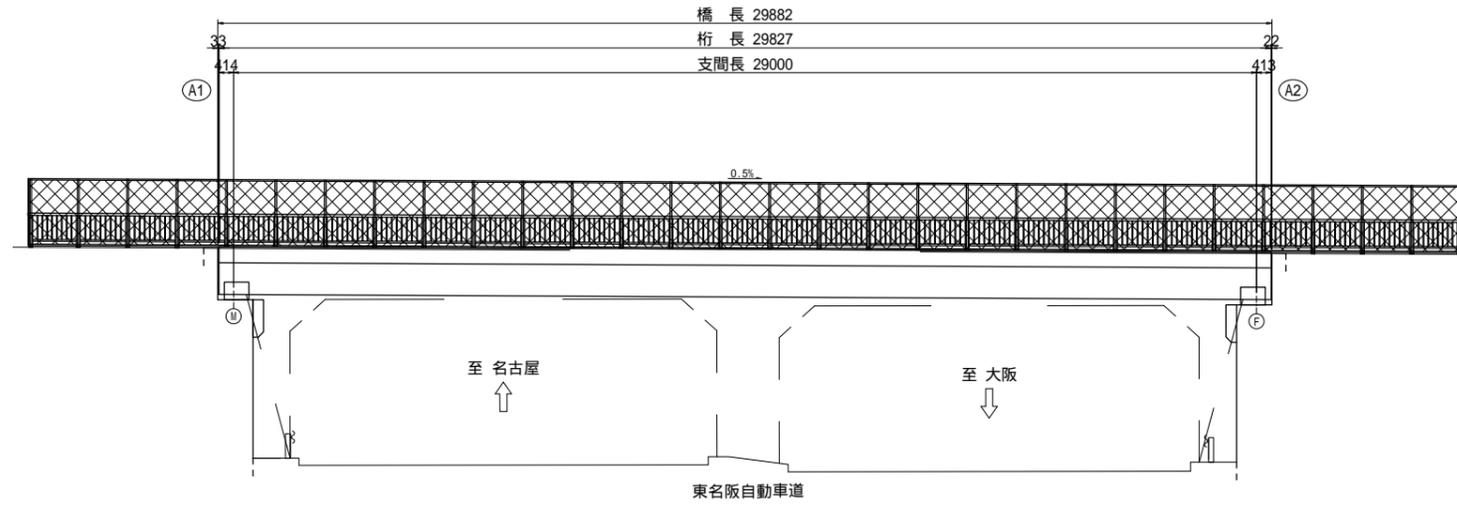
立谷橋 補修標準図 縮尺 -

適用	補修標準図1	断面修復	適用	補修標準図2	ひびわれ注入(1) 可とう性要求あり ASR用																																					
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">断面修復数量表 1m³当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>上部工</th> <th>下部工</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>断面修復材</td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td>m³</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>鉄筋防錆処理含む</td> </tr> <tr> <td>下地処理</td> <td></td> <td>m²</td> <td>33.3</td> <td>16.7</td> <td>はつり30・60mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注)1.露出した鉄筋は、電動ワイヤーカッター等で錆を除去して、鉄筋防錆処理を行うこと。 2.鉄筋のかぶり量が少なく、表面が劣化していると思われる箇所は、鉄筋の裏側までコンクリートをはつり落し断面修復を施すこと。 3.断面修復材は深さ30mm(上部工)、60mm(下部工)と仮定して算出。 4.はつりによる残材処理は断面修復材の1/2と仮定して算出。</p> </div> </div>	名称	規格	単位	上部工	下部工	摘要	断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m ³	1.0	1.0	鉄筋防錆処理含む	下地処理		m ²	33.3	16.7	はつり30・60mm以下		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">ひびわれ幅 0.2 W < 1.0</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">ひびわれ注入数量表 100m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂注入材</td> <td>エポキシ樹脂3種</td> <td>kg</td> <td>19.1</td> <td>比重1.15</td> </tr> <tr> <td>シール材</td> <td>エポキシ樹脂3種</td> <td>kg</td> <td>25.5</td> <td>比重1.70</td> </tr> <tr> <td>注入器具</td> <td></td> <td>本</td> <td>333</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注)1.樹脂注入量は注入器1本当りの容量50cc(0.06kg)より算出。 2.シール材は幅50mm、厚さ3mmとして算出。 3.ひびわれ注入の対象としてはクラック幅が0.2mm以上1.0mm未満のものとする。 4.注入器具の設置間隔は、300ピッチとした。</p> </div> </div>	名称	規格	単位	数量	摘要	樹脂注入材	エポキシ樹脂3種	kg	19.1	比重1.15	シール材	エポキシ樹脂3種	kg	25.5	比重1.70	注入器具		本	333	
名称	規格	単位	上部工	下部工	摘要																																					
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m ³	1.0	1.0	鉄筋防錆処理含む																																					
下地処理		m ²	33.3	16.7	はつり30・60mm以下																																					
名称	規格	単位	数量	摘要																																						
樹脂注入材	エポキシ樹脂3種	kg	19.1	比重1.15																																						
シール材	エポキシ樹脂3種	kg	25.5	比重1.70																																						
注入器具		本	333																																							
適用	補修標準図3	ひびわれ注入(2) 可とう性要求なし	適用	補修標準図4	ひびわれ充填																																					
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">ひびわれ幅 0.2 W < 1.0</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">ひびわれ注入数量表 100m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂注入材</td> <td>エポキシ樹脂1種</td> <td>kg</td> <td>19.1</td> <td>比重1.15</td> </tr> <tr> <td>シール材</td> <td>エポキシ樹脂1種</td> <td>kg</td> <td>25.5</td> <td>比重1.70</td> </tr> <tr> <td>注入器具</td> <td></td> <td>本</td> <td>333</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注)1.樹脂注入量は注入器1本当りの容量50cc(0.06kg)より算出。 2.シール材は幅50mm、厚さ3mmとして算出。 3.ひびわれ注入の対象としてはクラック幅が0.2mm以上1.0mm未満のものとする。 4.注入器具の設置間隔は、300ピッチとした。</p> </div> </div>	名称	規格	単位	数量	摘要	樹脂注入材	エポキシ樹脂1種	kg	19.1	比重1.15	シール材	エポキシ樹脂1種	kg	25.5	比重1.70	注入器具		本	333			<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">ひびわれ幅 1.0 W</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">ひびわれ充填数量表 100m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シール材</td> <td>可とう性エポキシ樹脂</td> <td>kg</td> <td>13.0</td> <td>比重1.30</td> </tr> <tr> <td>プライマー材</td> <td>エポキシ樹脂</td> <td>kg</td> <td>1.0</td> <td>標準0.5kg/m²使用</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注)1.ひびわれ充填の対象としては、クラック幅が1.0mm以上のものとする。 2.遊離石灰を伴ったクラック部分に運用する。</p> </div> </div>	名称	規格	単位	数量	摘要	シール材	可とう性エポキシ樹脂	kg	13.0	比重1.30	プライマー材	エポキシ樹脂	kg	1.0	標準0.5kg/m ² 使用			
名称	規格	単位	数量	摘要																																						
樹脂注入材	エポキシ樹脂1種	kg	19.1	比重1.15																																						
シール材	エポキシ樹脂1種	kg	25.5	比重1.70																																						
注入器具		本	333																																							
名称	規格	単位	数量	摘要																																						
シール材	可とう性エポキシ樹脂	kg	13.0	比重1.30																																						
プライマー材	エポキシ樹脂	kg	1.0	標準0.5kg/m ² 使用																																						

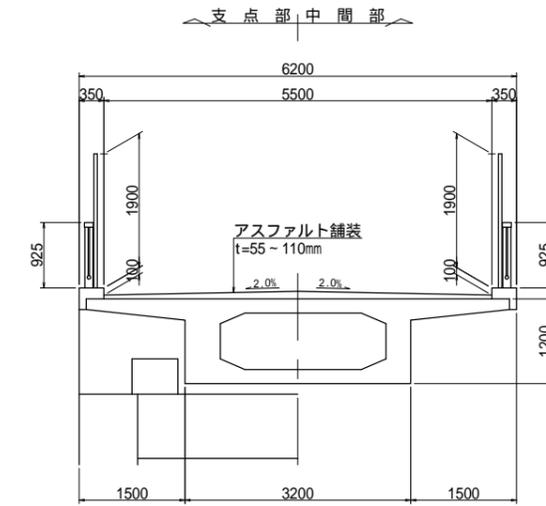
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	立谷橋 補修標準図		
作成年月日			
縮尺	-	図面番号	14/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

住山橋 現況一般図 縮尺 1:100

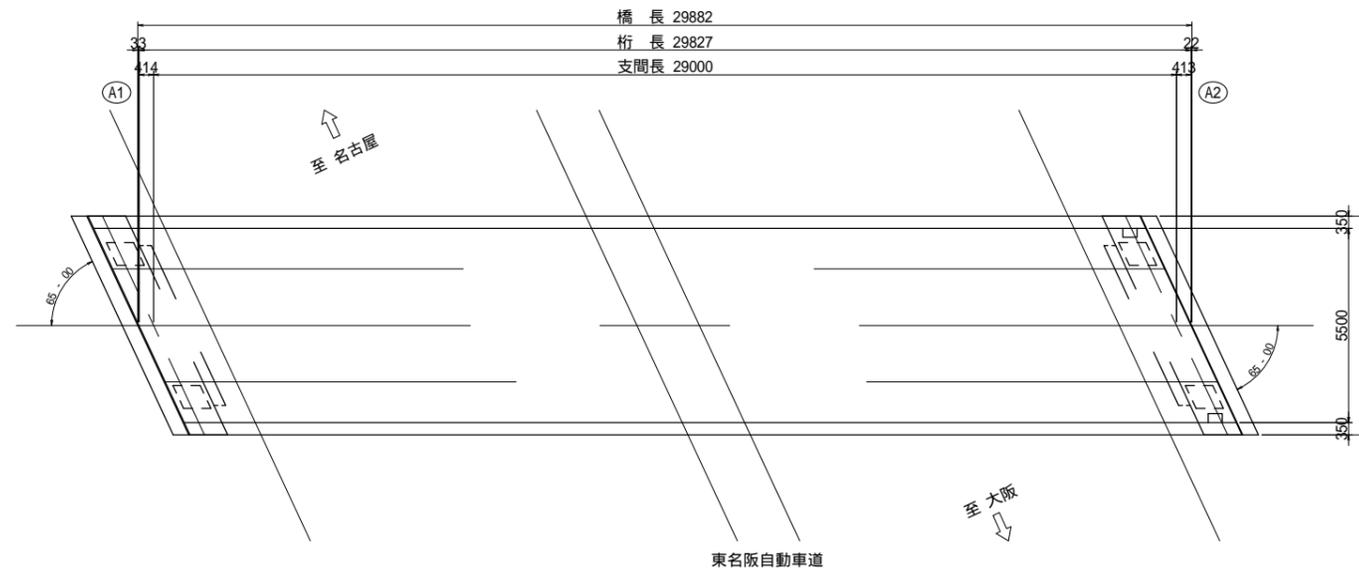
側面図



断面図 S=1:50



平面図

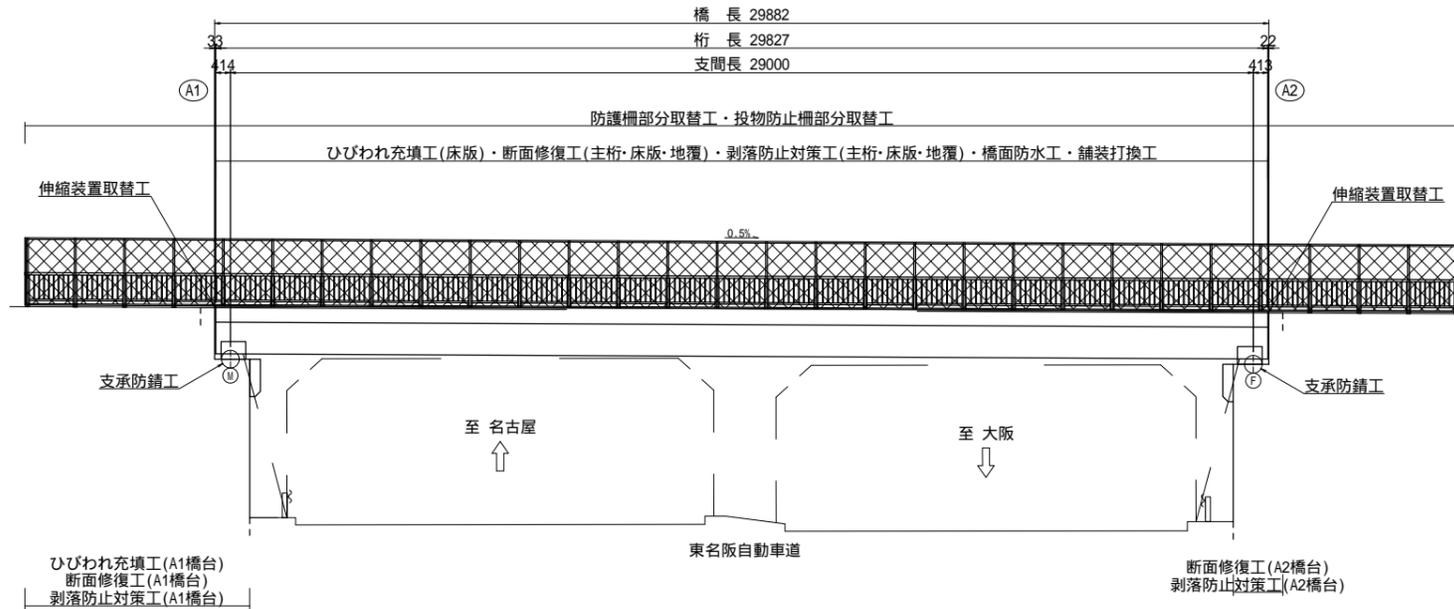


工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 現況一般図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	15/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

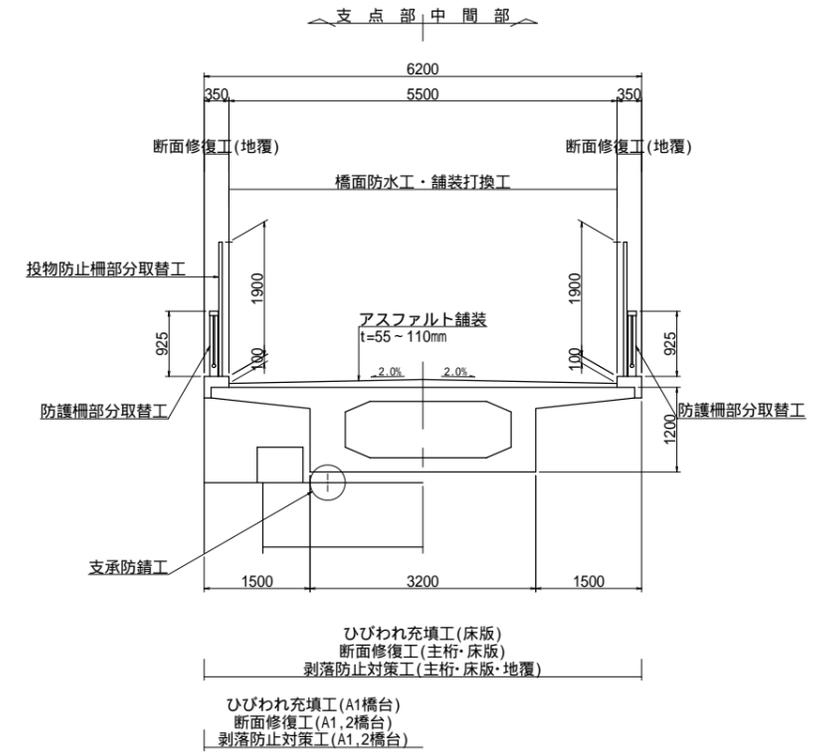
現況線は竣工図書からのトレースであるため、現地で確認を行ってから施工を行うこと。

住山橋 対策一般図 縮尺 1:100

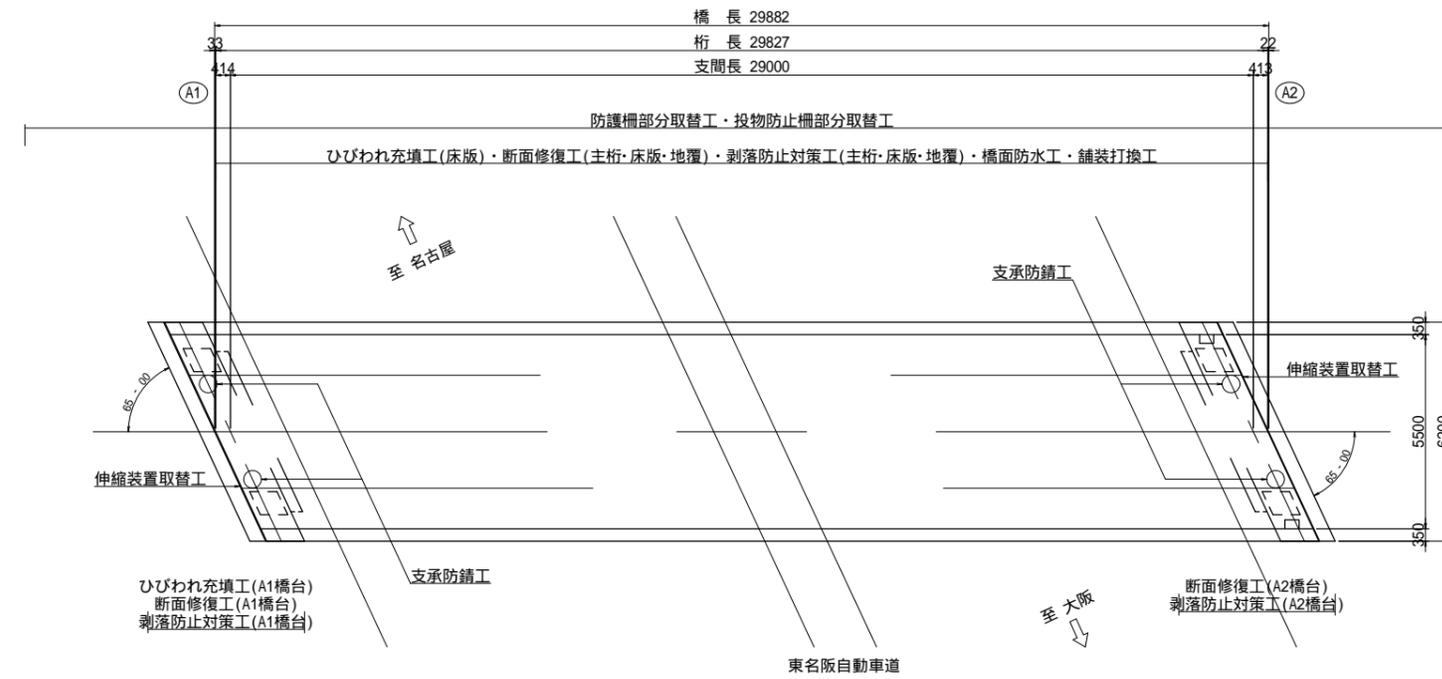
側面図



断面図 S=1:50



平面図



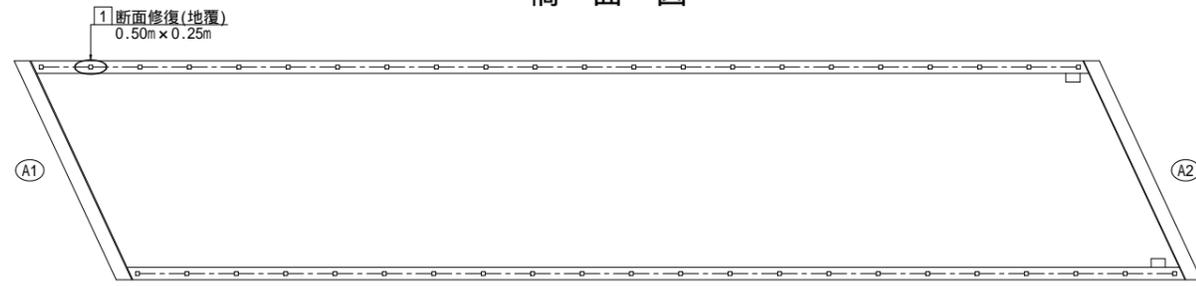
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 対策一般図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	16/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

現況線は竣工図書からのトレースであるため、現地で確認を行ってから施工を行うこと。

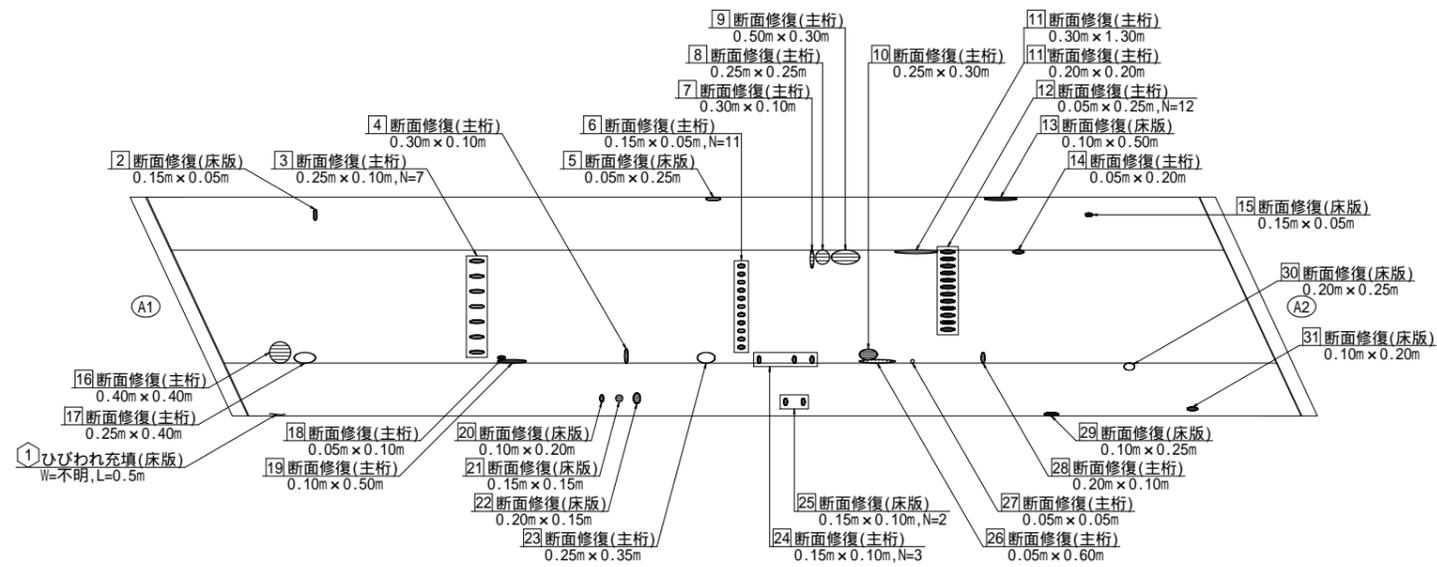
住山橋 補修図(その1) 縮尺 1:100

ひびわれ充填工・断面修復工

橋面図

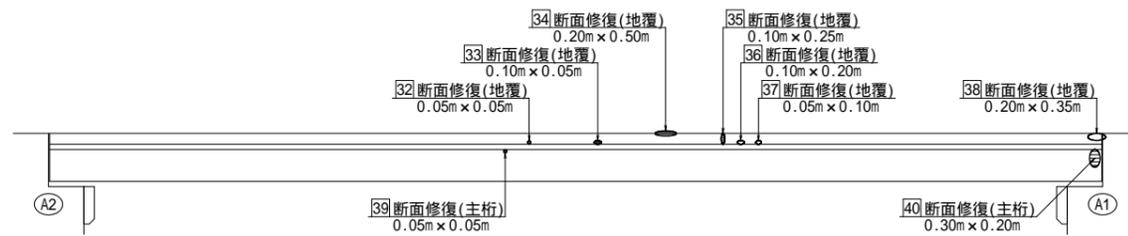


桁下面図

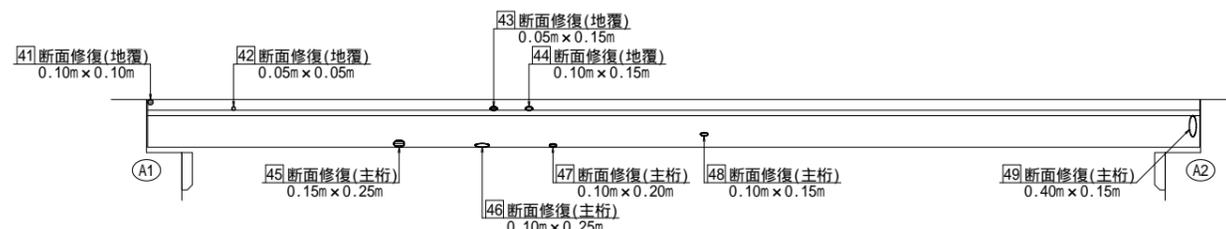


側面図(外側)

名古屋側



大阪側



断面修復(上部工)

位置	損傷寸法 (m)	箇所	面積 (m ²)
【橋面】			
1	0.50 x 0.25	1	0.125
小計			0.125
【桁下面】			
2	0.15 x 0.05	1	0.008
3	0.25 x 0.10	7	0.175
4	0.30 x 0.10	1	0.030
5	0.05 x 0.25	1	0.013
6	0.15 x 0.05	11	0.083
7	0.30 x 0.10	1	0.030
8	0.25 x 0.25	1	0.063
9	0.50 x 0.30	1	0.150
10	0.25 x 0.30	1	0.075
11	0.30 x 1.30	1	0.390
11'	0.20 x 0.20	1	0.040
12	0.05 x 0.25	12	0.150
13	0.10 x 0.50	1	0.050
14	0.05 x 0.20	1	0.010
15	0.15 x 0.05	1	0.008
16	0.40 x 0.40	1	0.160
17	0.25 x 0.40	1	0.100
18	0.05 x 0.10	1	0.005
19	0.10 x 0.50	1	0.050
20	0.10 x 0.20	1	0.020
21	0.15 x 0.15	1	0.023
22	0.20 x 0.15	1	0.030
23	0.25 x 0.35	1	0.088
24	0.15 x 0.10	3	0.045
25	0.15 x 0.10	2	0.030
26	0.05 x 0.60	1	0.030
27	0.05 x 0.05	1	0.003
28	0.20 x 0.10	1	0.020
29	0.10 x 0.25	1	0.025
30	0.20 x 0.25	1	0.050
31	0.10 x 0.20	1	0.020
小計			1.974
【側面(名古屋側)】			
32	0.05 x 0.05	1	0.003
33	0.10 x 0.05	1	0.005
34	0.20 x 0.50	1	0.100
35	0.10 x 0.25	1	0.025
36	0.10 x 0.20	1	0.020
37	0.05 x 0.10	1	0.005
38	0.20 x 0.35	1	0.070
39	0.05 x 0.05	1	0.003
40	0.30 x 0.20	1	0.060
小計			0.291
【側面(大阪側)】			
41	0.10 x 0.10	1	0.010
42	0.05 x 0.05	1	0.003
43	0.05 x 0.15	1	0.008
44	0.10 x 0.15	1	0.015
45	0.15 x 0.25	1	0.038
46	0.10 x 0.25	1	0.025
47	0.10 x 0.20	1	0.020
48	0.10 x 0.15	1	0.015
49	0.40 x 0.15	1	0.060
小計			0.194
合計			2.584

はつり深さは3cmと想定

凡例	
ひびわれ	
遊離石灰	
剥離	
漏水	
鉄筋露出	
豆板・空洞	
その他	

工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 補修図(その1)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	17/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

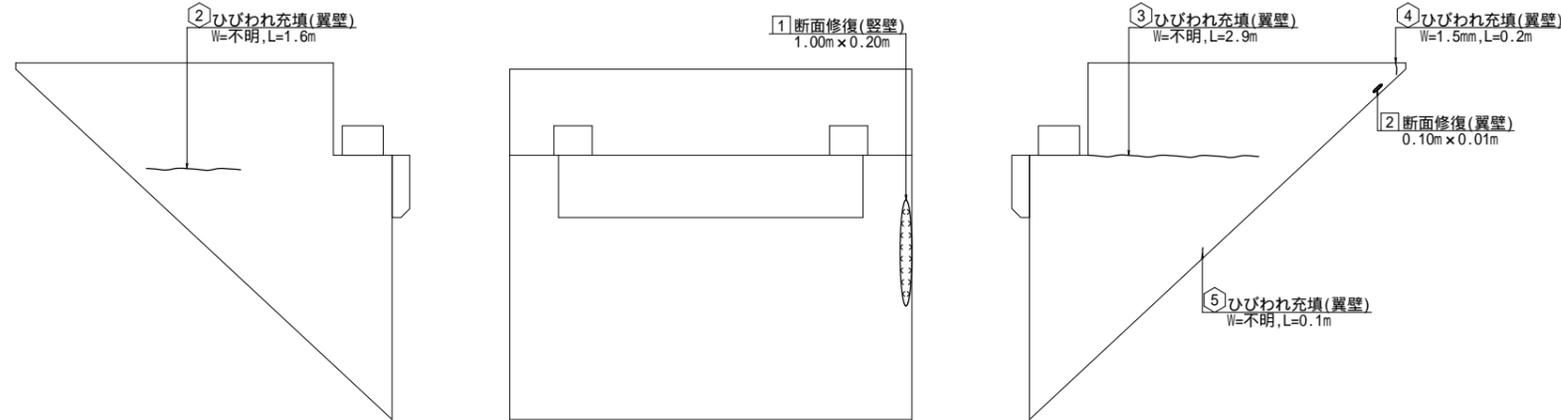
注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

住山橋 補修図(その2) 縮尺 1:60

ひびわれ充填工・断面修復工

凡例	
ひびわれ	
遊離石灰	
剥離	
漏水	
鉄筋露出	
豆板・空洞	
その他	

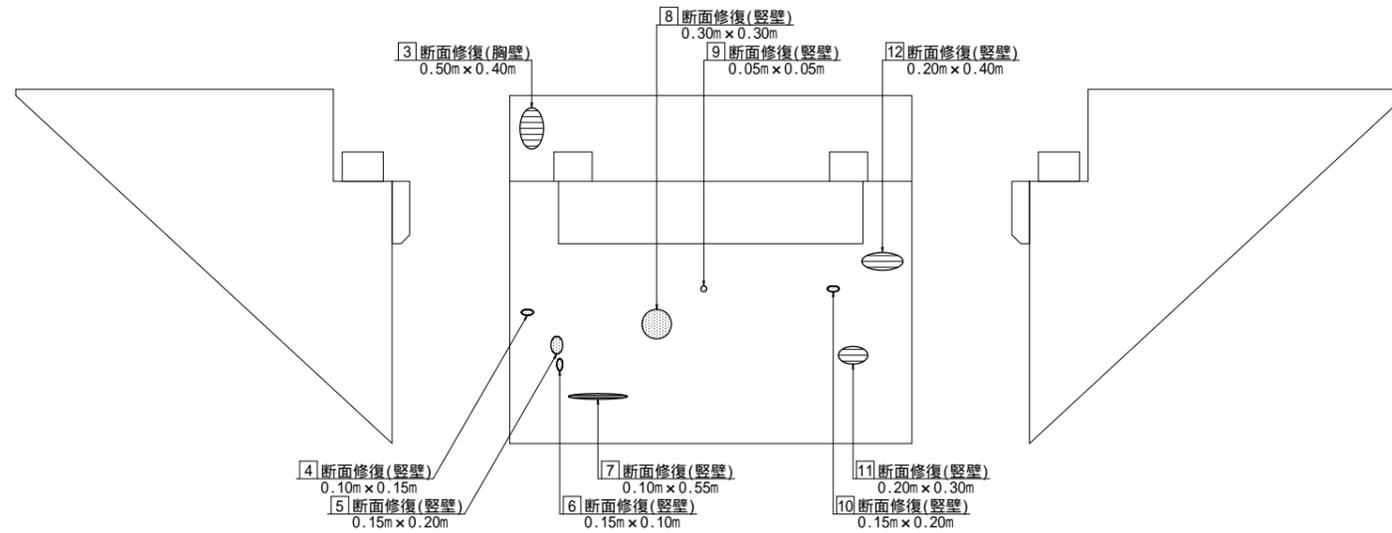
A1橋台



ひびわれ充填

位置	ひびわれ幅 (mm)	長さ (m)	箇所	ひびわれ延長 (m)
【桁下面】				
①	-	0.5	1	0.5
小計				0.5
【A1橋台】				
②	-	1.6	1	1.6
③	-	2.9	1	2.9
④	1.5	0.2	1	0.2
⑤	-	0.1	1	0.1
小計				4.8
合計				5.3

A2橋台



断面修復(下部工)

位置	損傷寸法 (m)	箇所	面積 (m ²)
【A1橋台】			
①	1.00 x 0.20	1	0.200
②	0.10 x 0.01	1	0.001
小計			0.201
【A2橋台】			
③	0.50 x 0.40	1	0.200
④	0.10 x 0.15	1	0.015
⑤	0.15 x 0.20	1	0.030
⑥	0.15 x 0.10	1	0.015
⑦	0.10 x 0.55	1	0.055
⑧	0.30 x 0.30	1	0.090
⑨	0.05 x 0.05	1	0.003
⑩	0.15 x 0.20	1	0.030
⑪	0.20 x 0.30	1	0.060
⑫	0.20 x 0.40	1	0.080
小計			0.578
合計			0.779

はつり深さは6cmと想定

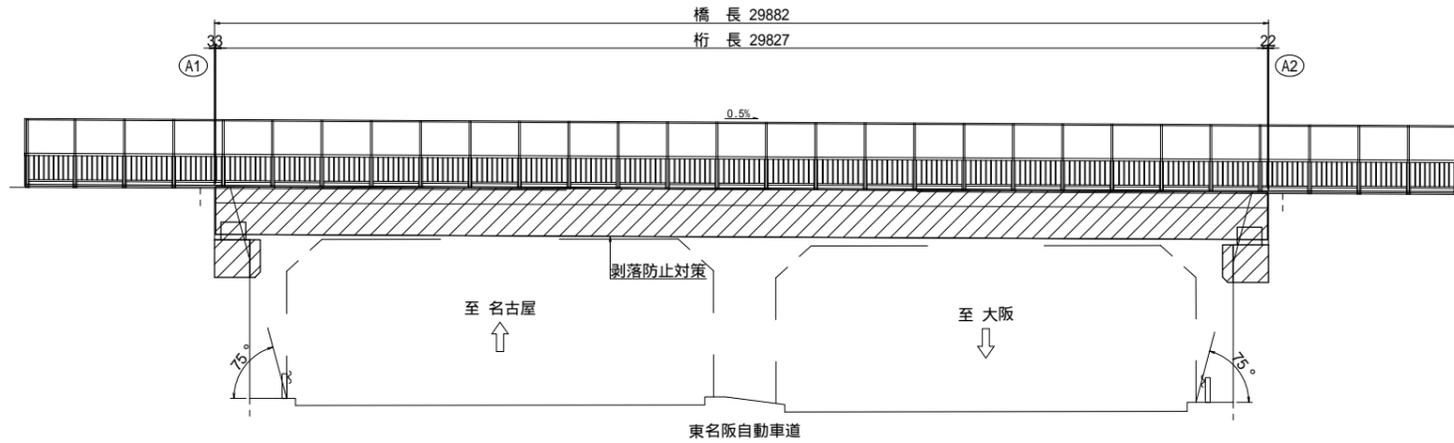
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 補修図(その2)		
作成年月日			
縮尺	1:60	図面番号	18/32
会社名			
事業者名	龜山市土木課		

注記 1.各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

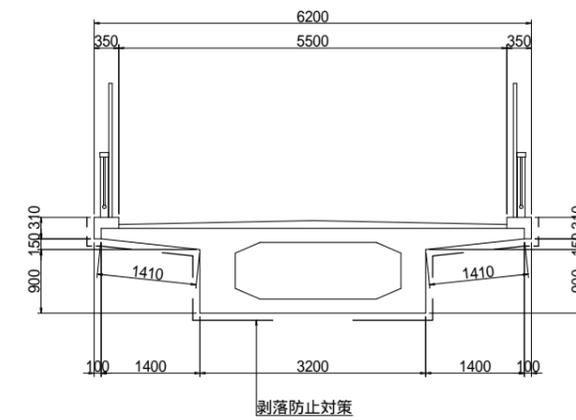
住山橋 補修図(その3) 縮尺図示

剥落防止対策工

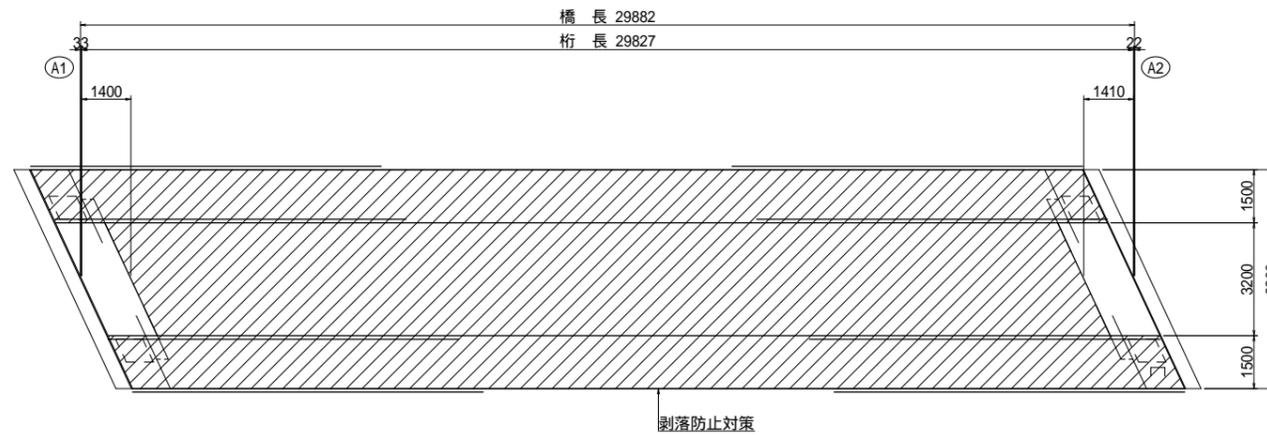
側面図 S=1:100



上部工 S=1:50



平面図

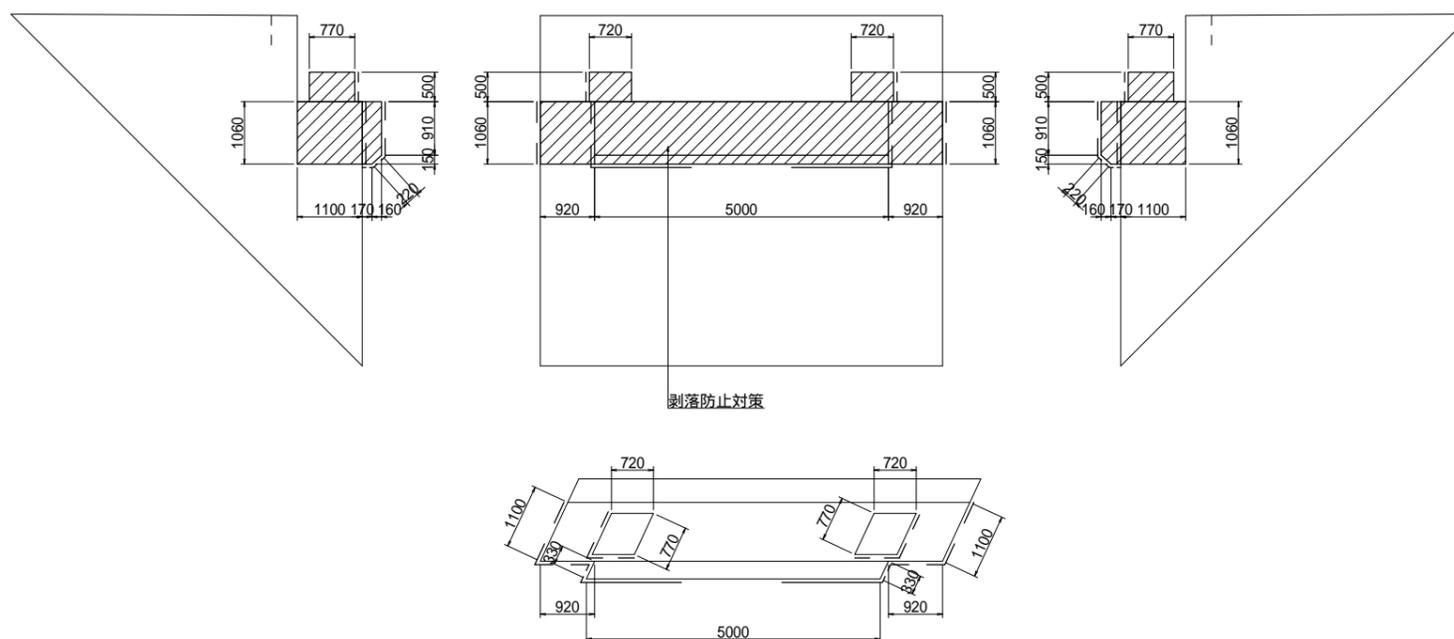


剥落防止対策工詳細図

ハイブリッドシート工法
同等品以上



下部工 S=1:60



100㎡当たり

プライマー	kg	15.0
含浸接着剤塗布工	kg	100.0
特殊ラミネートシート接着工	㎡	120.0

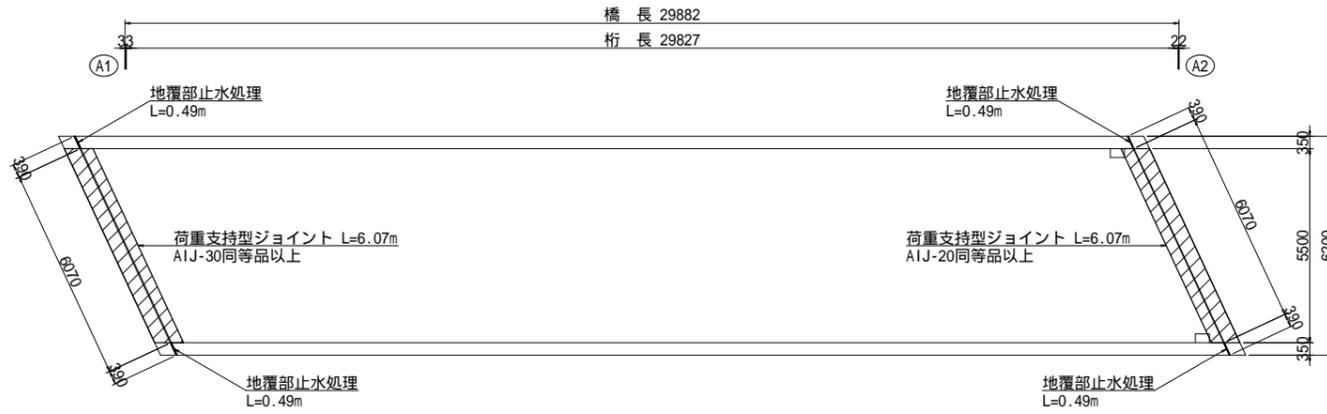
施工時の養生について、外気温23℃以上見込める場合は、施工間隔の短縮が図れる『タフガードQ-R工法同等品以上』を使用すること。

工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 補修図(その3)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	19/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

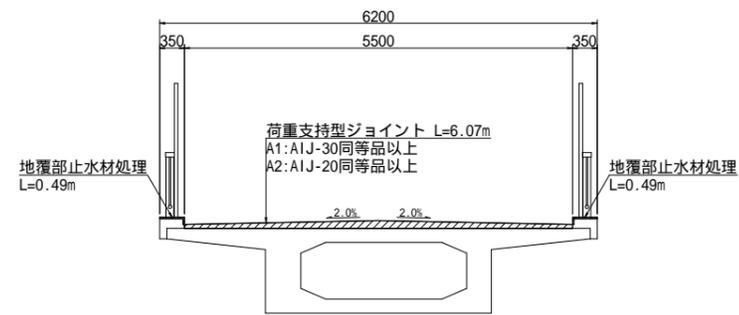
注記 1.各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

住山橋 補修図(その4) 縮尺図示 伸縮装置取替工

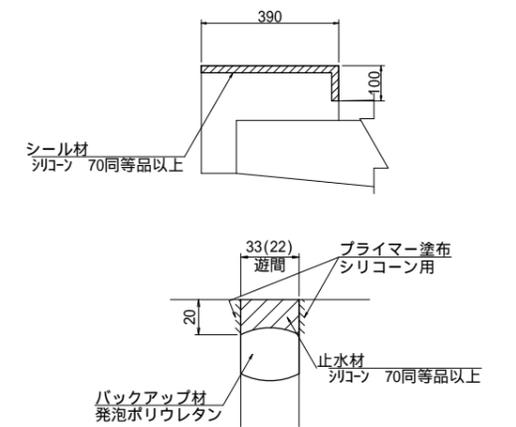
平面図 S=1:100



断面図 S=1:50

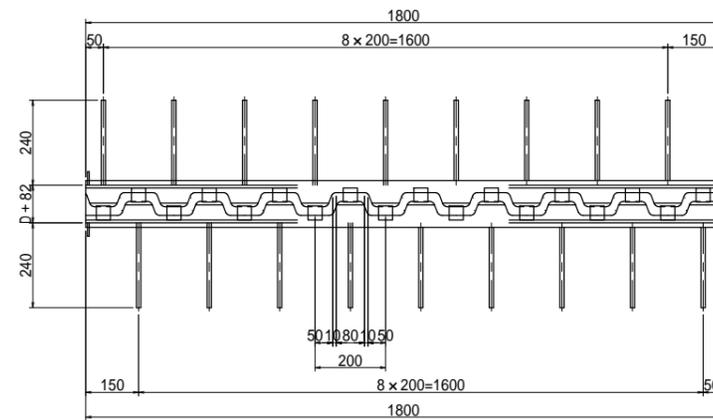
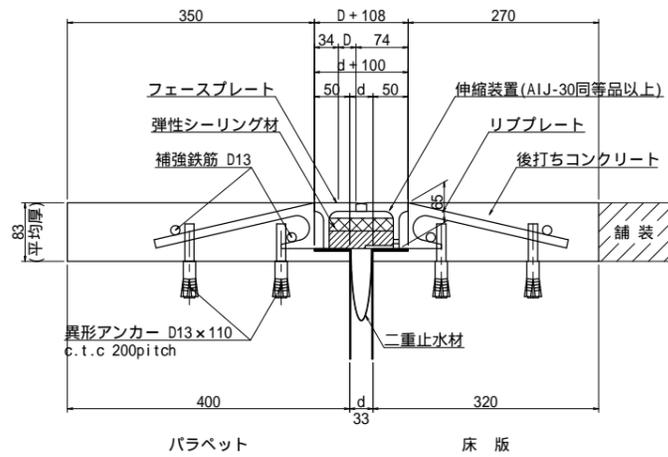


地覆部止水処理詳細図 S=1:10, 1:2

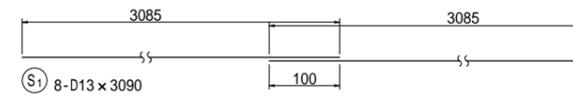


()内の値はA2橋台部での寸法を示す。

伸縮装置詳細図 S=1:5, 10
A1橋台: AIJ-30同等品以上



鉄筋加工図



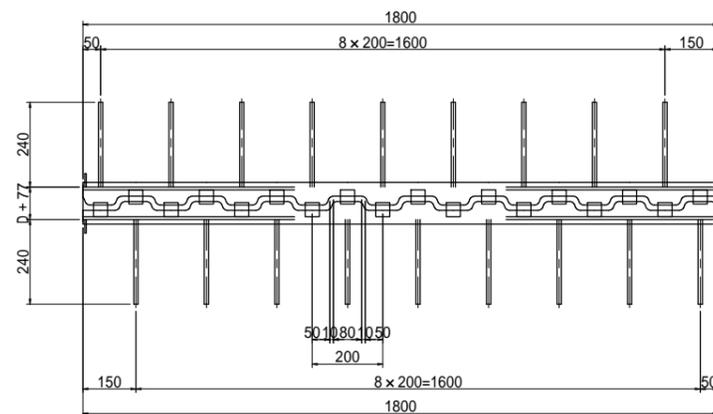
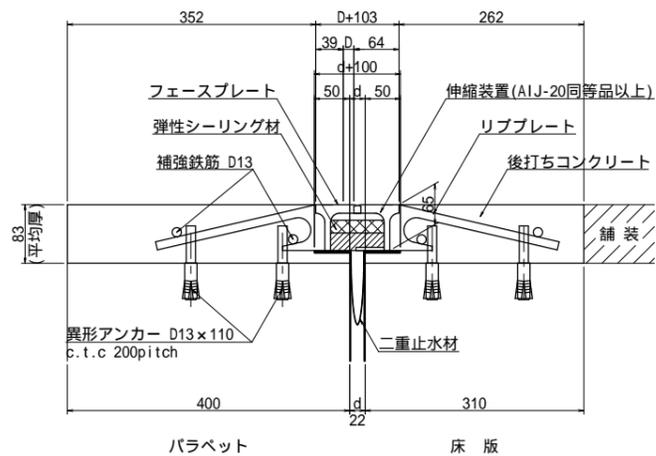
伸縮装置取替数量表 A1橋台

名称	規格	単位	数量	摘要
荷重支持型ジョイント	AIJ-30同等品以上	m	6.07	二重止水装置付き
鉄筋	SD345 D13	t	0.025	
後打ちコンクリート	超速硬コンクリート	m ³	0.3	3h=24N/mm ²
異形アンカー	D13×110	本	124	

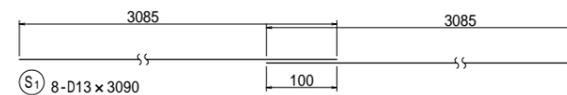
注記

1. ジョイントのタイプ及び配筋計画は、現地状況によって変わる。
2. 既設伸縮装置撤去時ののはり高は、現地状況に応じて決定すること。
3. ジョイントセット遊間Dは施工時の温度及び床版遊間dにより調整すること。
4. 既設ジョイント撤去時パラベット及び床版の脆弱な箇所は全て研り取ること。
5. 床版遊間は現地調査の上調整すること。
6. ジョイントの裏込幅及びパラベット幅は現地調査の上調整すること。

A2橋台: AIJ-20同等品以上



鉄筋加工図



伸縮装置取替数量表 A2橋台

名称	規格	単位	数量	摘要
荷重支持型ジョイント	AIJ-20同等品以上	m	6.07	二重止水装置付き
鉄筋	SD345 D13	t	0.025	
後打ちコンクリート	超速硬コンクリート	m ³	0.3	3h=24N/mm ²
異形アンカー	D13×110	本	124	

注記

1. ジョイントのタイプ及び配筋計画は、現地状況によって変わる。
2. 既設伸縮装置撤去時ののはり高は、現地状況に応じて決定すること。
3. ジョイントセット遊間Dは施工時の温度及び床版遊間dにより調整すること。
4. 既設ジョイント撤去時パラベット及び床版の脆弱な箇所は全て研り取ること。
5. 床版遊間は現地調査の上調整すること。
6. ジョイントの裏込幅及びパラベット幅は現地調査の上調整すること。

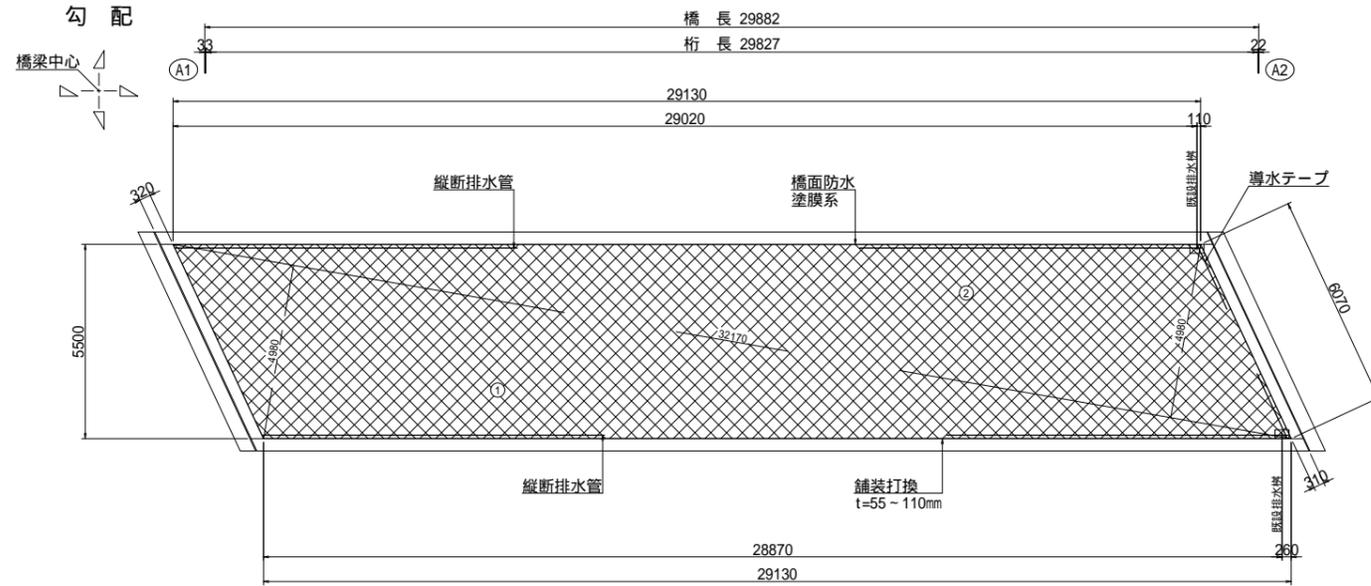
注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事
図面名	住山橋 補修図(その4)
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 20/32
会社名	
事業者名	亀山市土木課

住山橋 補修図(その5) 縮尺図示

橋面防水工・舗装打換工

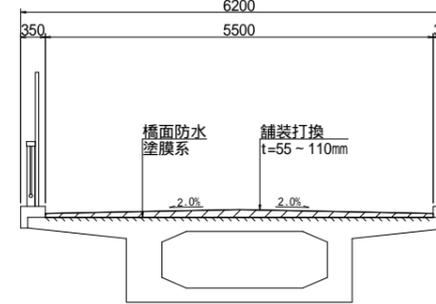
平面図 S=1:100



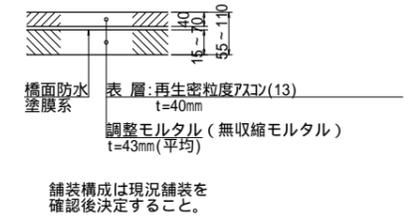
: 舗装打換
 : 橋面防水

既設舗装を撤去後、床版上面の目視を行い健全であることを確認した上で、橋面防水を実施すること。橋面排水は既設排水水樹を利用することとする。

断面図 S=1:50

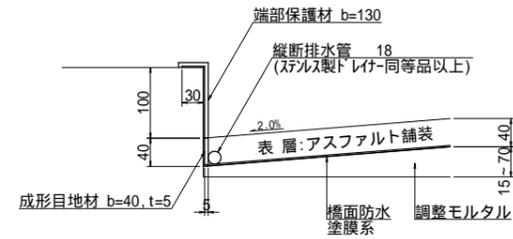


橋面舗装構成図 S=1:10

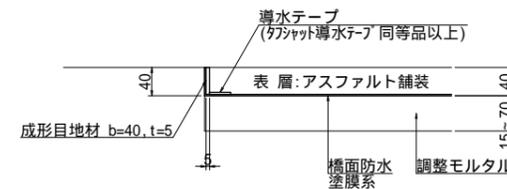


端部防水処理詳細図 S=1:5

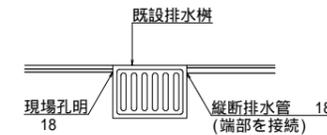
縦断方向



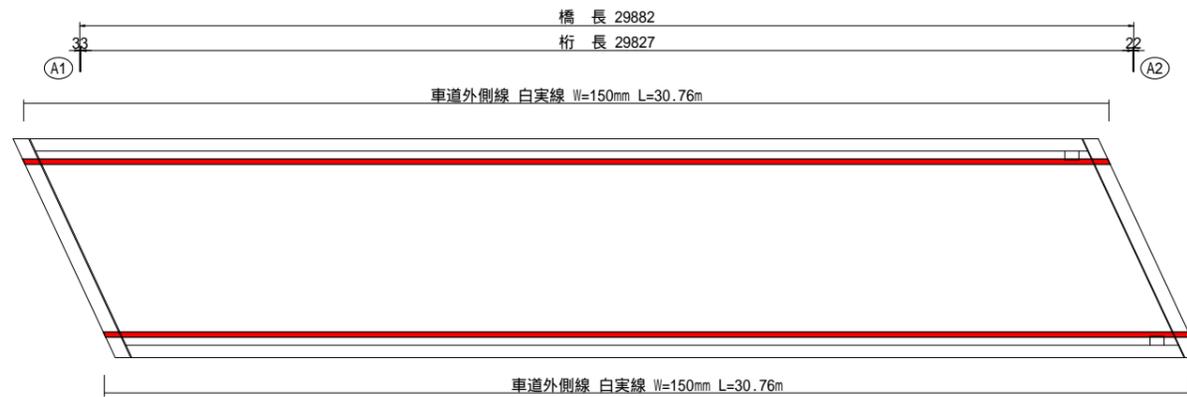
横断方向



ドレイナー端部接続詳細図 S=1:20



区画線復旧 S=1:100



端部防水処理(縦断方向)数量表

名称	規格	単位	数量	摘要
端部保護材	b=130	m	100.0	
成形目地材	b=40, t=5	m	100.0	

端部防水処理(横断方向)数量表

名称	規格	単位	数量	摘要
成形目地材	b=40, t=5	m	100.0	

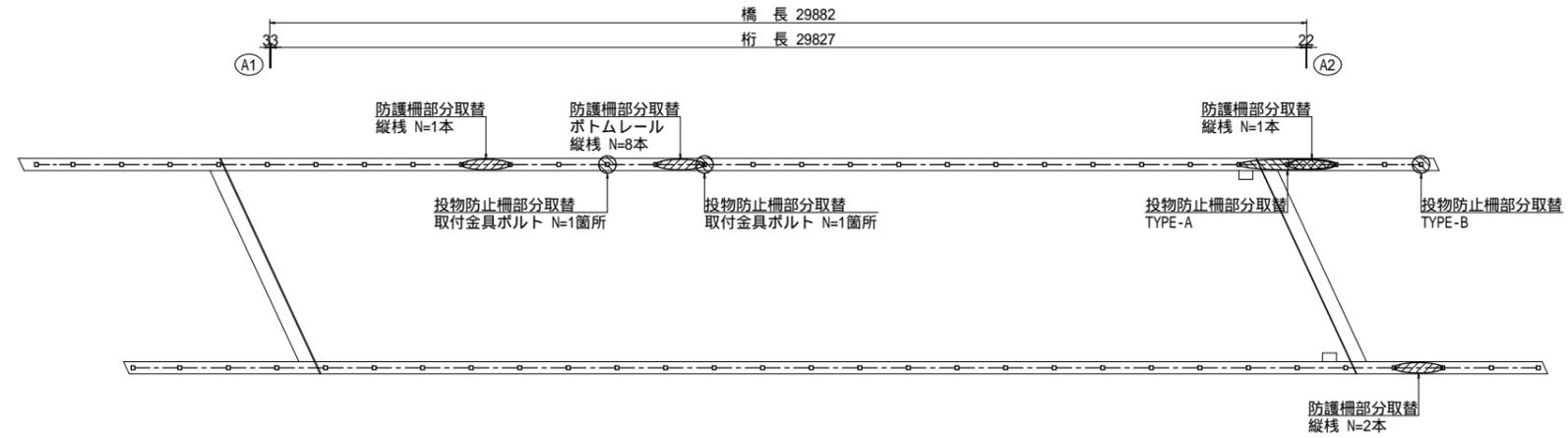
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 補修図(その5)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	21/32
会社名			
事業者名	龜山市土木課		

注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

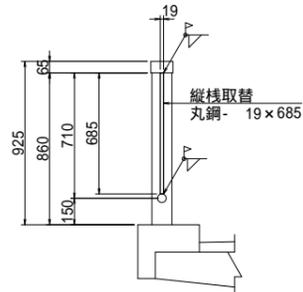
住山橋 補修図(その6) 縮尺図示

防護柵部分取替工・投物防止柵部分取替工

平面図 S=1:100

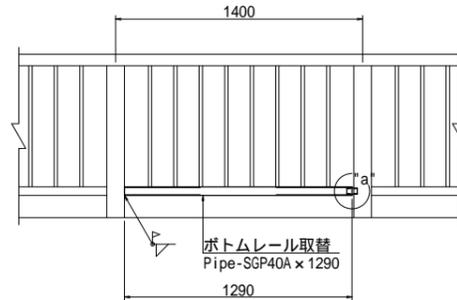


縦棧取替詳細図 S=1:20



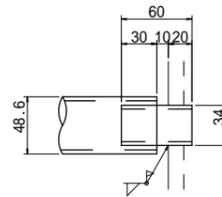
1箇所当り
1-丸鋼 19×685(SR235相当)
鋼材は溶融亜鉛めっきを施すこと。

ボトムレール取替詳細図 S=1:20

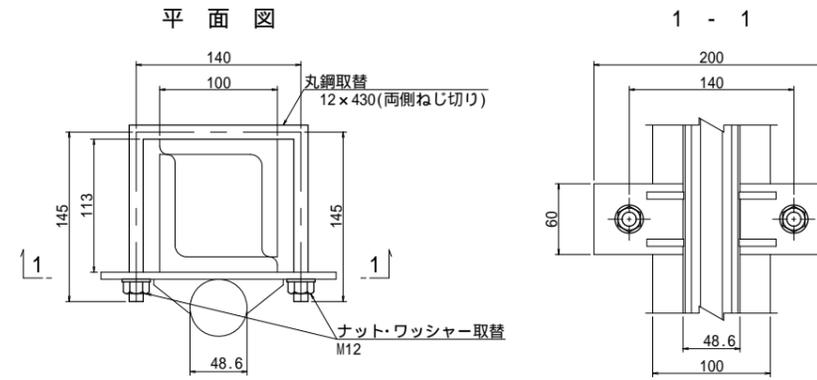


1箇所当り
1-Pipe SGP40A×1290
1-Pipe SGP25A×60
鋼材は溶融亜鉛めっきを施すこと。

"a"部詳細図 S=1:3



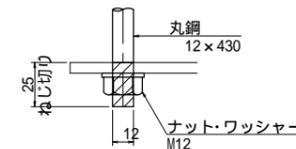
取付金具ボルト取替詳細図 S=1:3



1箇所当り
1-丸鋼 12×430(両側ねじ切り)(SR235相当)
2-ナット・ワッシャー M12(SS400相当)

鋼材は溶融亜鉛めっきを施すこと。
現地で寸法の確認を行ってから、製作を行うこと。

ねじ切り部詳細図 S=1:2

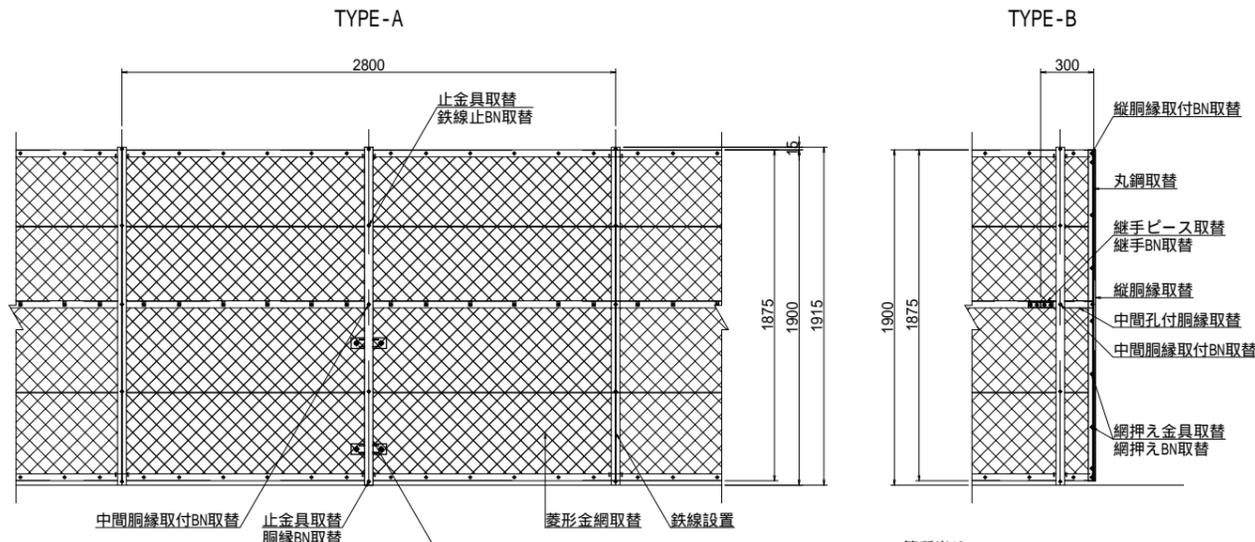


工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 補修図(その6)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	22/32
会社名			
事業者名	龜山市土木課		

注記 1.各部分寸法は、現地で再度計測を行い決定すること。

住山橋 補修図(その7) 縮尺図示 投物防止柵部分取替工

投物防止柵部分取替詳細図 S=1:20



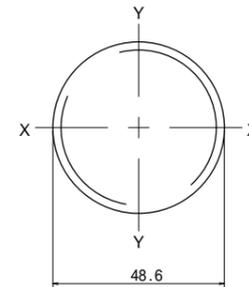
- 1箇所当り
- 1-支柱 48.6×1915(STK400)
 - 2-支柱取付金具
 - 1-菱形金網 2.6×25 1875×2800
 - 2-鉄線 4.0×1875(SWM-GS7)
 - 4-止金具 4.5×25(SPHC)
 - 1-中間胴縁取付BN M8×75(SUS304)
 - 2-胴縁BN M8×110(SUS304)
 - 2-鉄線止BN M8×75(SUS304)

金網の端部は支柱部の鉄線に固定すること。
鋼材はめっき品を用いること。

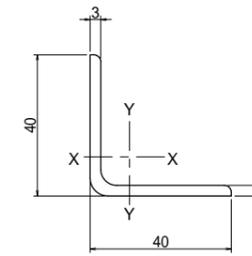
- 1箇所当り
- 1-縦胴縁 R付L-40×40×3×1875(SS400)
 - 1-中間孔付胴縁 R付L-40×40×3×300(SS400)
 - 1-丸網 6.0×1865(SR235相当)
 - 1-継手ピース R付L-30×30×3×140(SS400)
 - 7-網押え金具 19×26(SPHC)
 - 3-縦胴縁取付BN M8×20(SUS304)
 - 7-網押えBN M8×32(SUS304)
 - 1-中間胴縁取付BN M8×75(SUS304)
 - 4-継手BN M8×16(SUS304)

鋼材はめっき品を用いること。

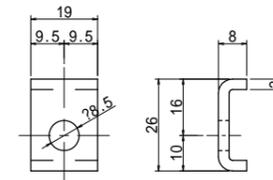
支柱断面図 S=1:1
(鋼管)



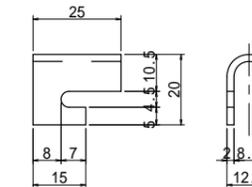
胴縁断面図 S=1:1
(R付L-40×40×3)



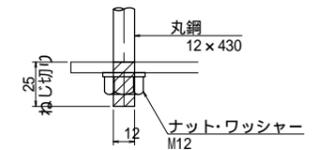
網押え金具 S=1:1
(19×26)



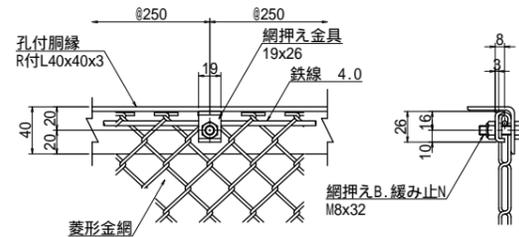
止金具 S=1:1
(4.5×25)



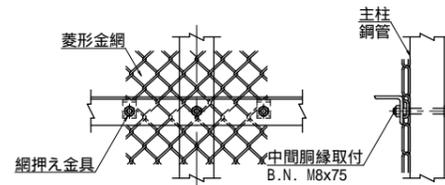
ねじ切り部詳細図 S=1:2



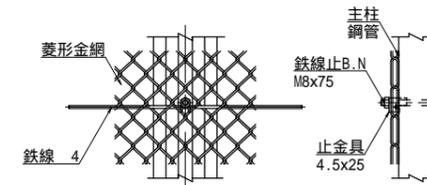
金網取付詳細 S=1:3



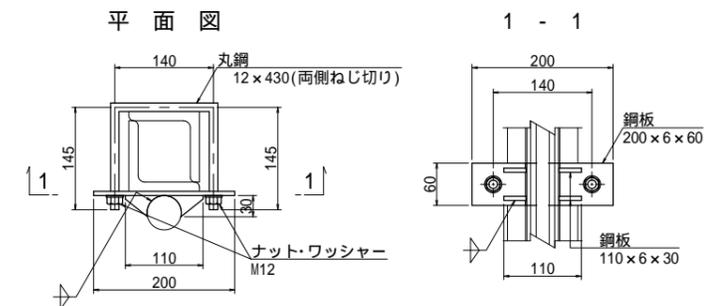
支柱・中間胴縁取付詳細 S=1:5



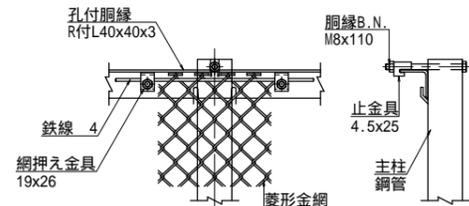
支柱・鉄線取付詳細 S=1:5



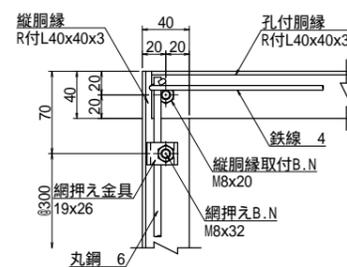
支柱取付金具詳細 S=1:5



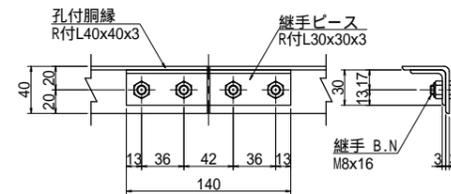
支柱・胴縁取付詳細 S=1:5



縦胴縁取付詳細 S=1:3



継手ピース取付詳細 S=1:3



- 1箇所当り
- 1-PL 200×6×60(SM400A)
 - 2-PL 110×6×30(NET40%) (SM400A)
 - 1-丸網 12×430(両側ねじ切り) (SR235相当)
 - 2-ナット・ワッシャー M12(SS400相当)

鋼材は溶融亜鉛めっきを施すこと。
現地で寸法の確認を行ってから、製作を行うこと。

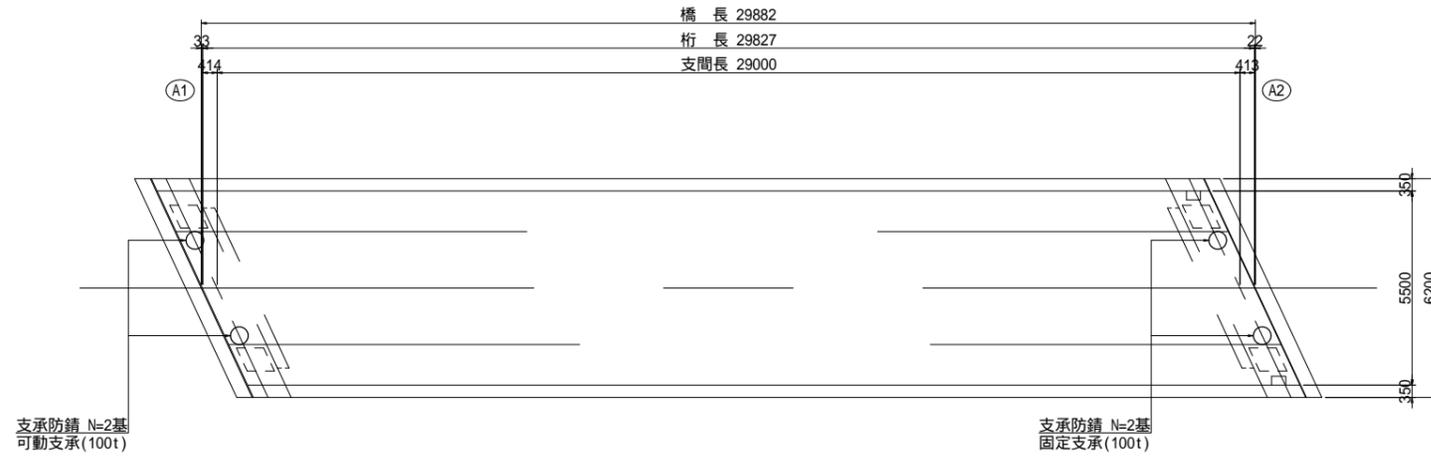
注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事
図面名	住山橋 補修図(その7)
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 23/32
会社名	
事業者名	龜山市土木課

住山橋 補修図(その8) 縮尺 1:100

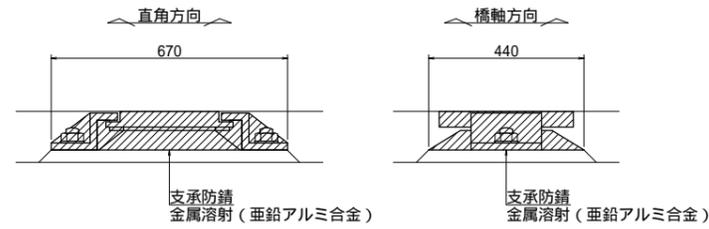
支承防錆工

平面図

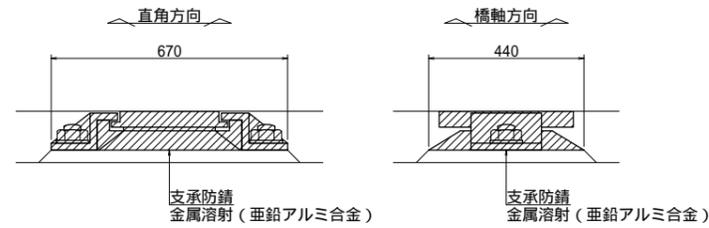


支承防錆詳細図 S=1:10

A1橋台(可動 100t)



A2橋台(固定 100t)

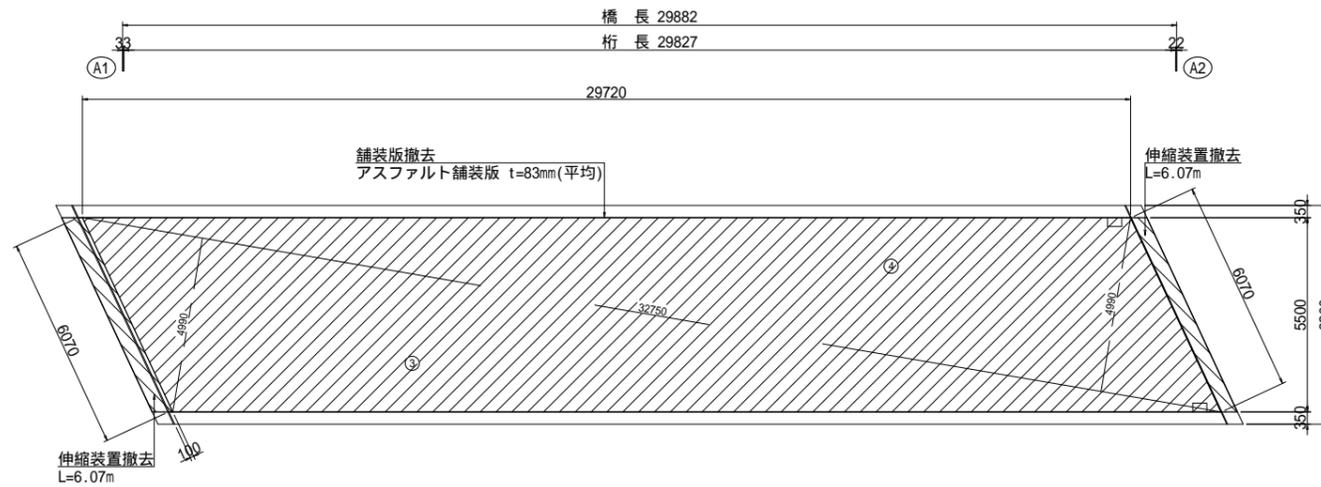


注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

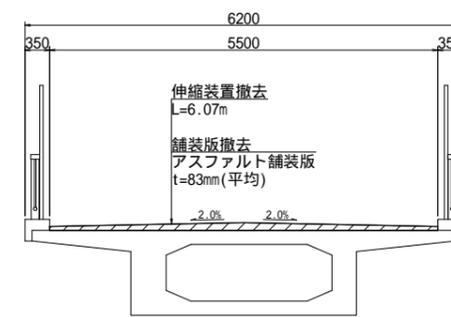
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 補修図(その8)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	24/32
会社名			
事業者名	龜山市土木課		

住山橋 撤去図(その1) 縮尺図示

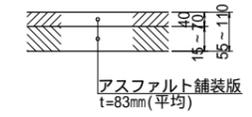
伸縮装置・舗装撤去 S=1:100



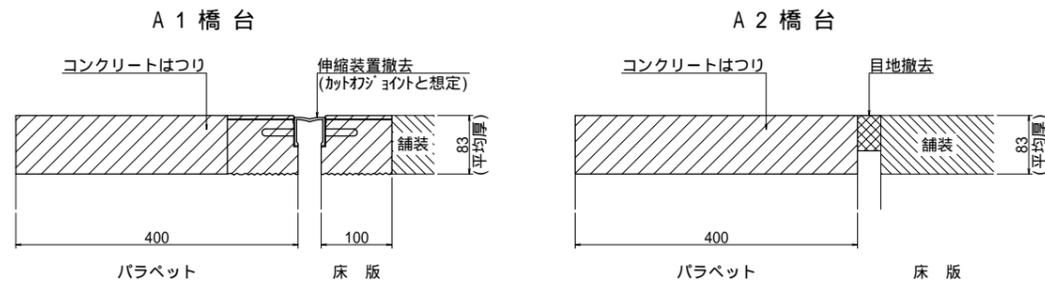
断面図 S=1:50



橋面舗装詳細図 S=1:10



既設伸縮装置詳細図 S=1:5



注記 1.各部分法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

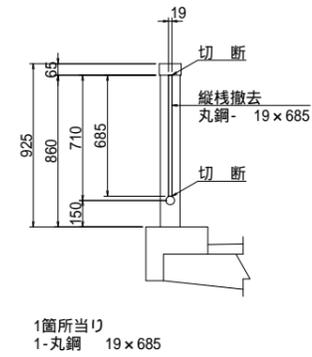
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 撤去図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	25/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

住山橋 撤去図(その2) 縮尺図示

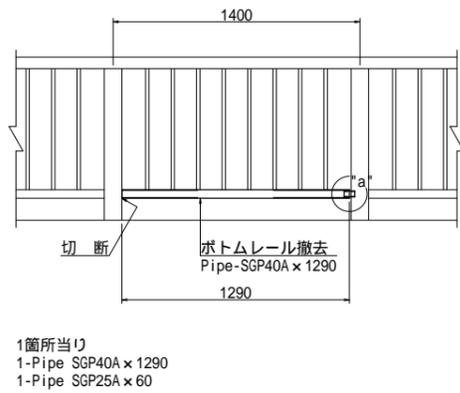
防護柵・投物防止柵撤去 S=1:100



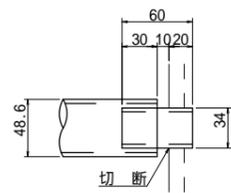
縦柵撤去詳細図 S=1:20



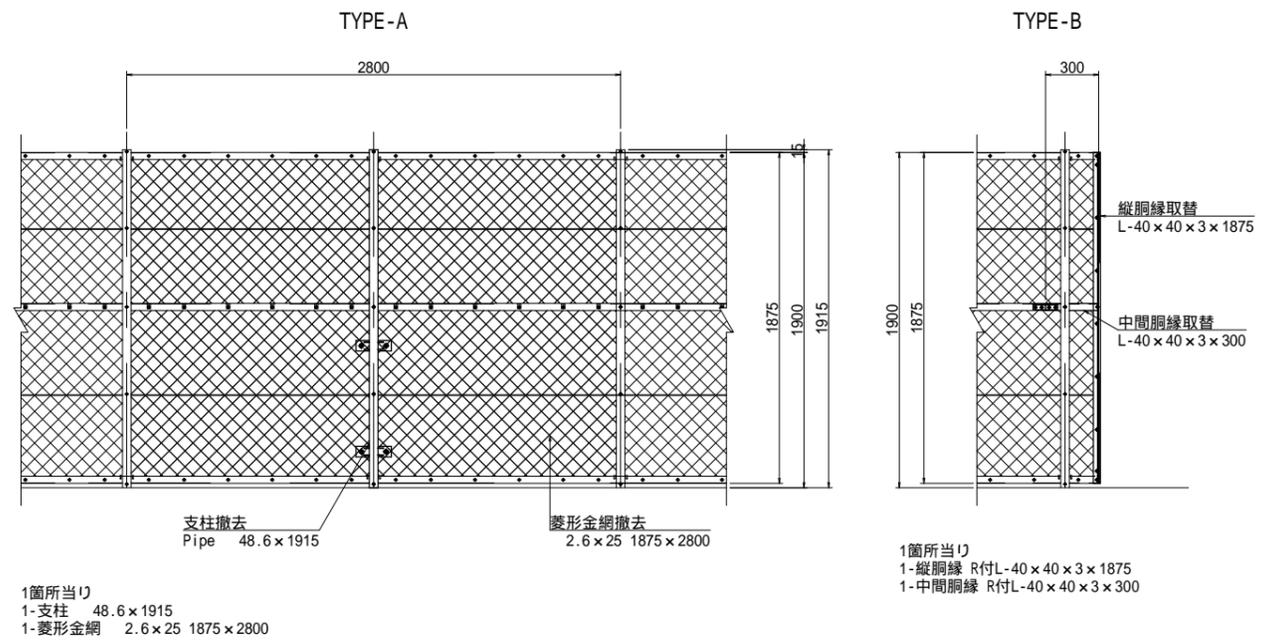
ボトムレール撤去詳細図 S=1:20



"a"部詳細図 S=1:3



投物防止柵部分撤去詳細図 S=1:20



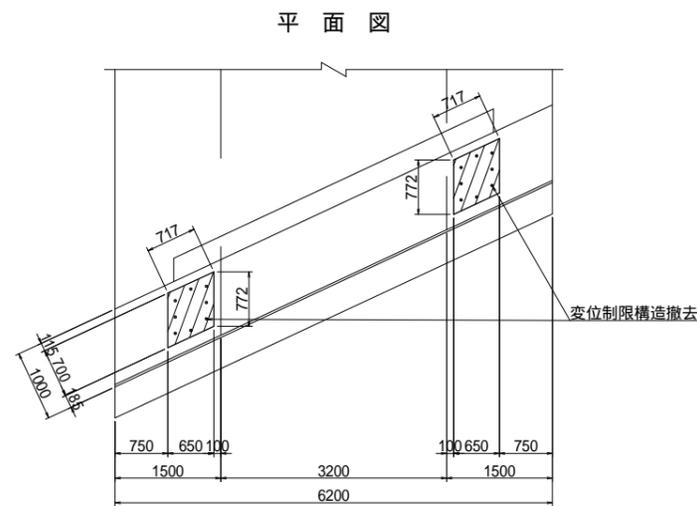
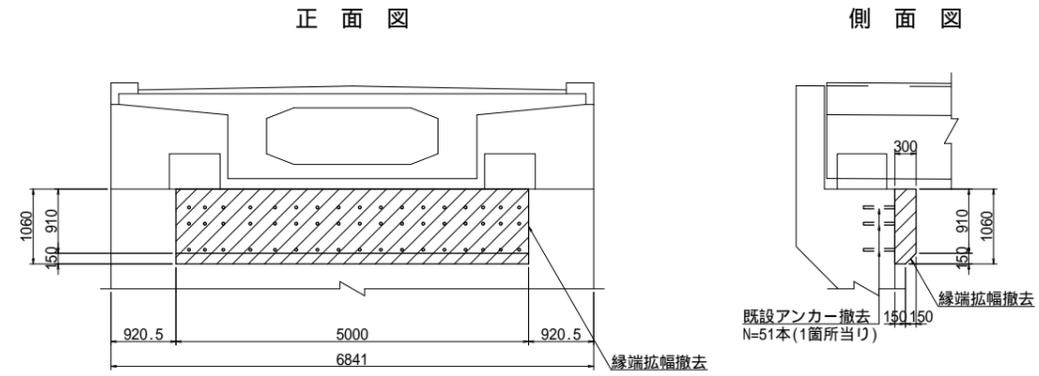
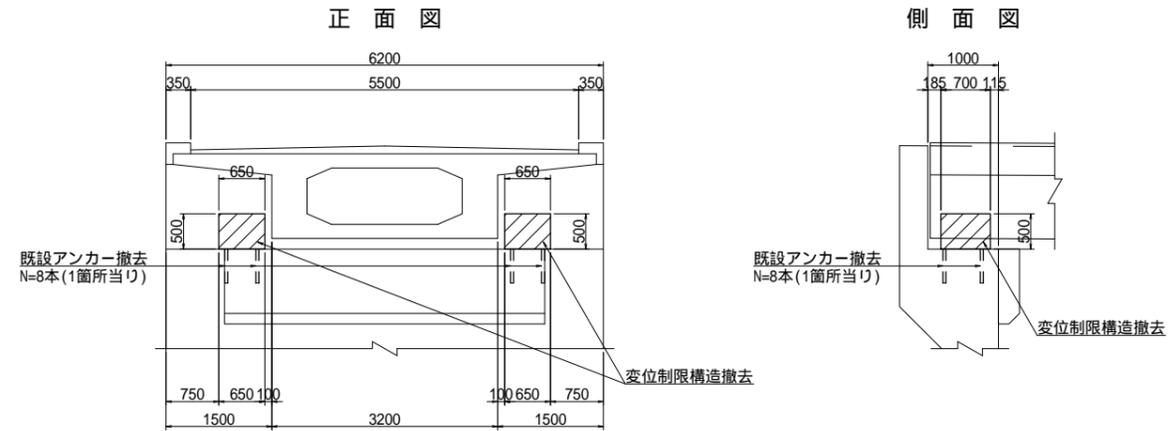
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 撤去図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	26/32
会社名			
事業者名	龜山市土木課		

注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

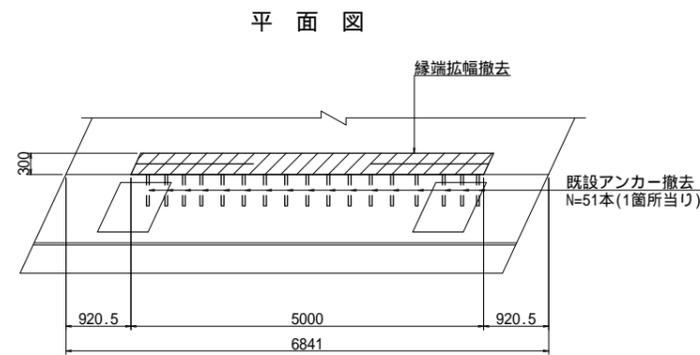
住山橋 撤去図(その3) 縮尺図示

変位制限構造撤去詳細図 S=1:50

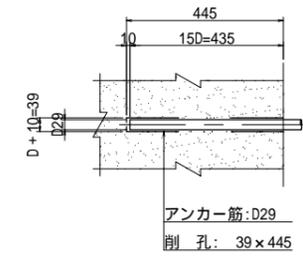
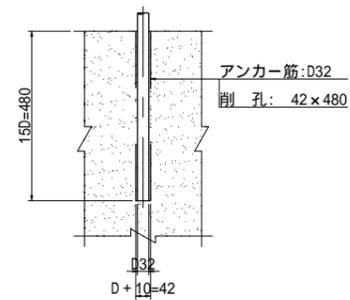
縁端拡幅撤去詳細図 S=1:50



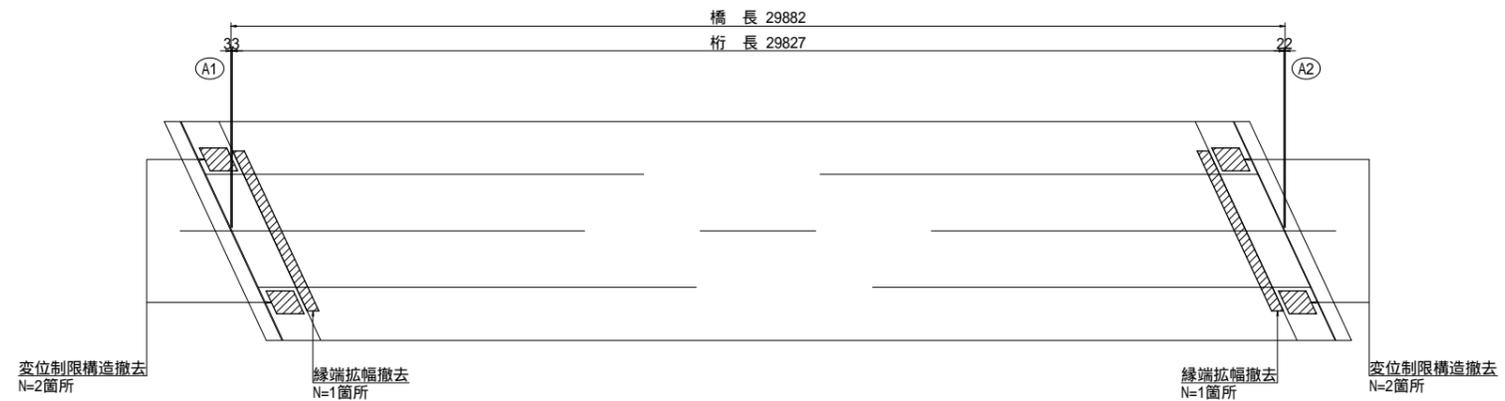
既設アンカー撤去詳細図 S=1:10



既設アンカー撤去詳細図 S=1:10



位置図

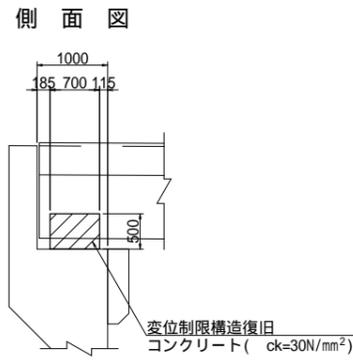
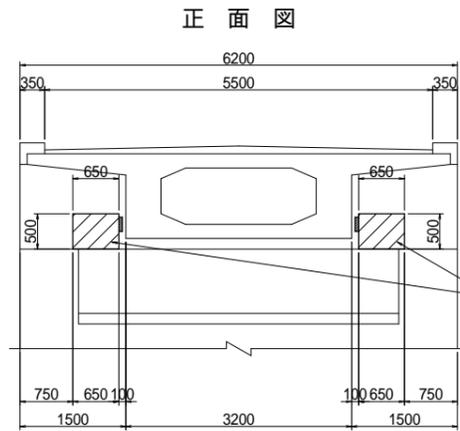


注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

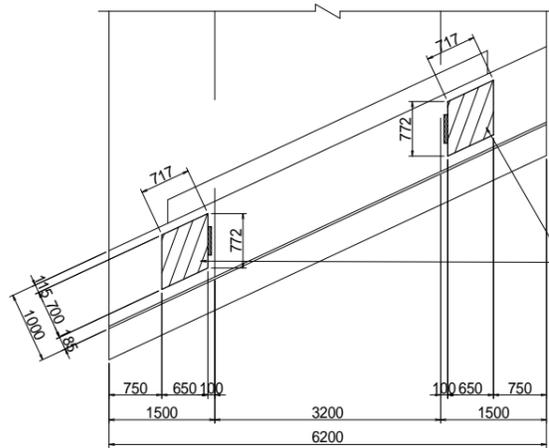
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 撤去図(その3)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	27/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

住山橋 復旧図(その1) 縮尺図示

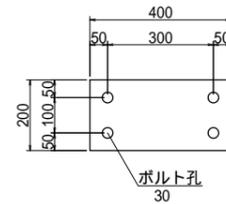
変位制限構造復旧詳細図 S=1:50



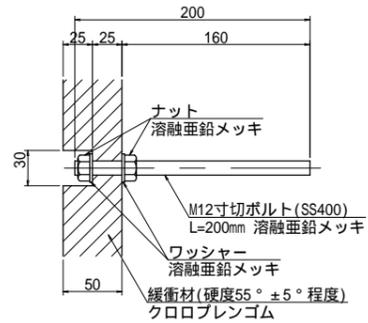
平面図 (Plan View)



緩衝材ボルト取付図 S=1:10

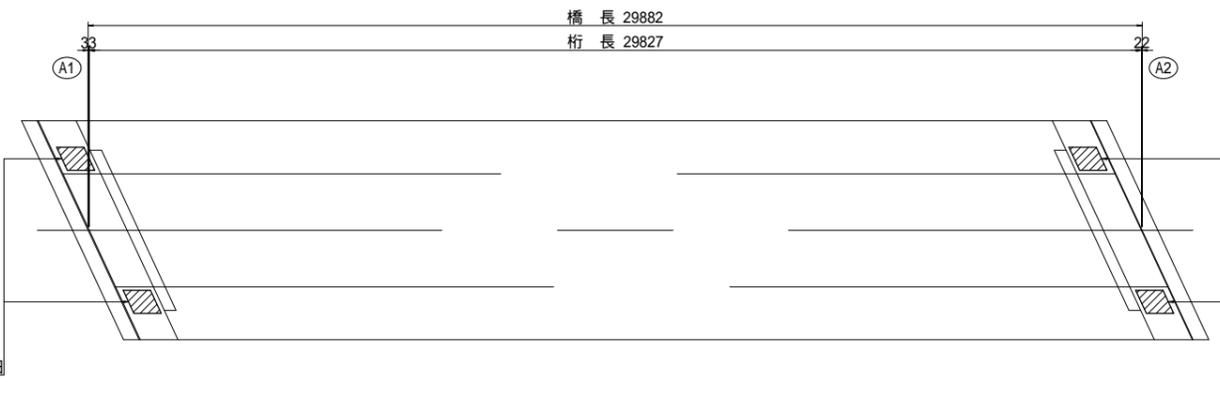


緩衝材取付詳細図 S=1:3



- カワロン A 400×200×50 硬度55 ± 5° 程度
- Bolt 4-M12×200(SS400)溶融亜鉛メッキ
- Nut 8-M12(SS400)溶融亜鉛メッキ
- Washer 8-M12(SS400)溶融亜鉛メッキ

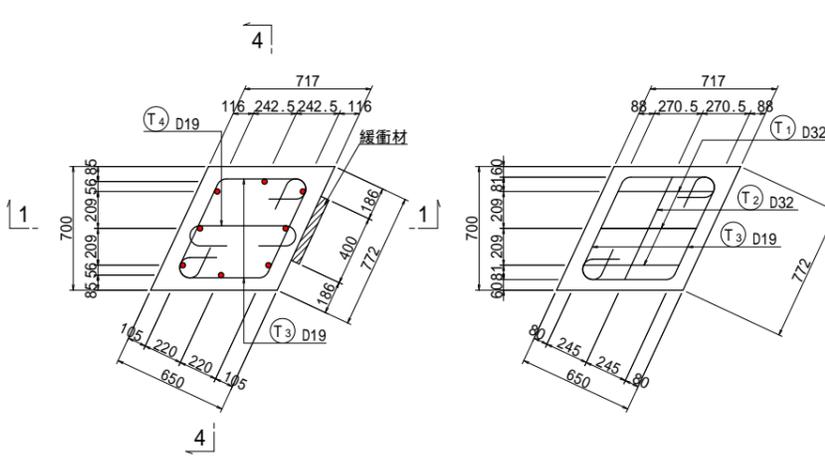
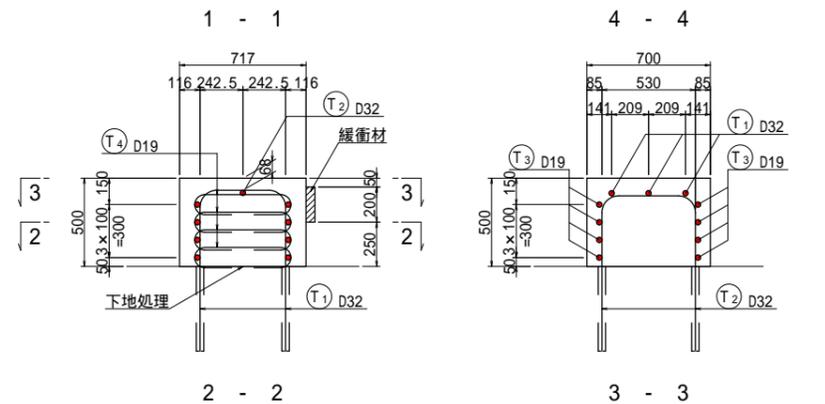
位置図 (Location Diagram)



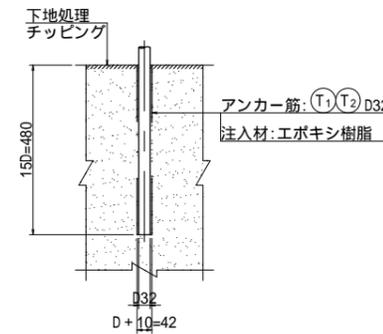
変位制限構造復旧
N=2箇所

変位制限構造復旧
N=2箇所

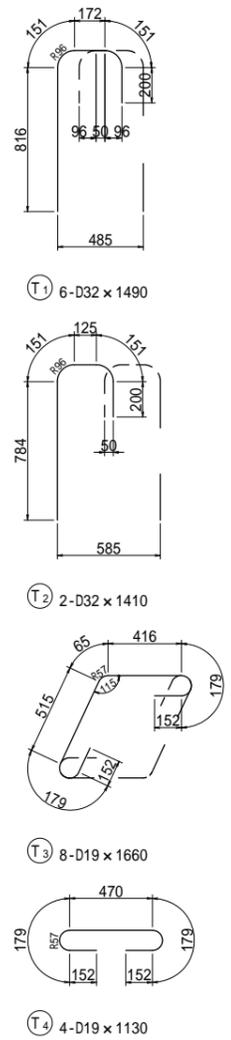
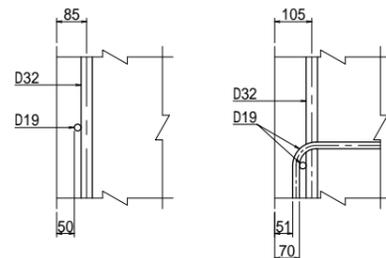
変位制限構造配筋図 S=1:20



アンカー定着詳細図 S=1:10



かぶり詳細図 S=1:10



鉄筋質量表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
T1	D32	1 490	6	6.23	9.28	56	┌
2	"	1 410	2	"	8.78	18	┌
3	D19	1 660	8	2.25	3.74	30	┌
4	"	1 130	4	"	2.54	10	┌
						114 kg	
鉄筋材質:SD345							4箇所当り
						D32	74 kg
						D19	40 "
						合計	114 kg 456 kg

注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

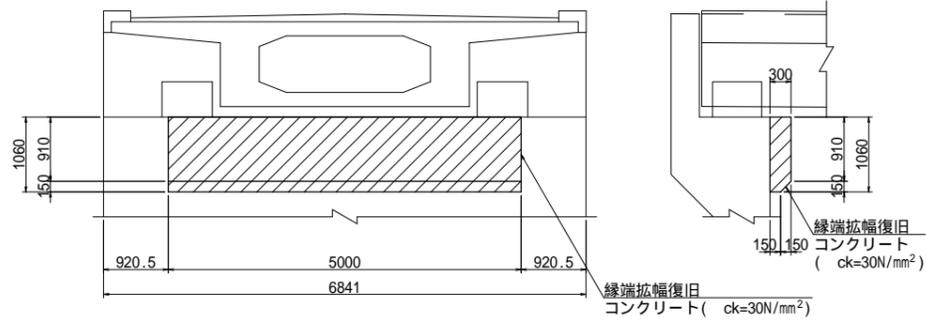
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事
図面名	住山橋 復旧図(その1)
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 28/32
会社名	
事業者名	龜山市土木課

住山橋 復旧図(その2) 縮尺図示

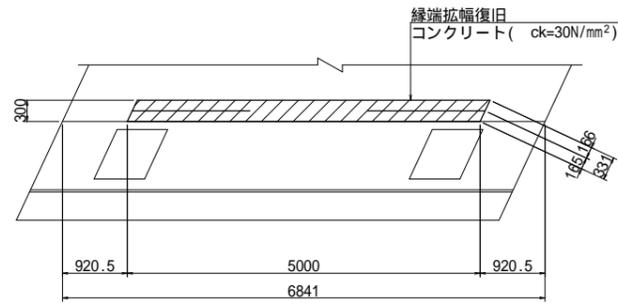
縁端拡幅復旧詳細図 S=1:50

正面図

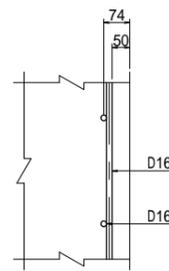
側面図



平面図

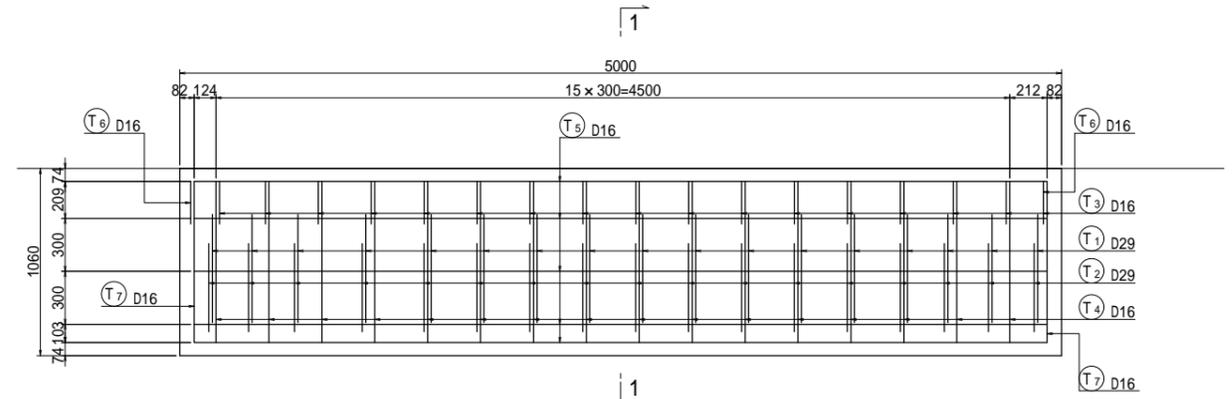


かぶり詳細図 S=1:10

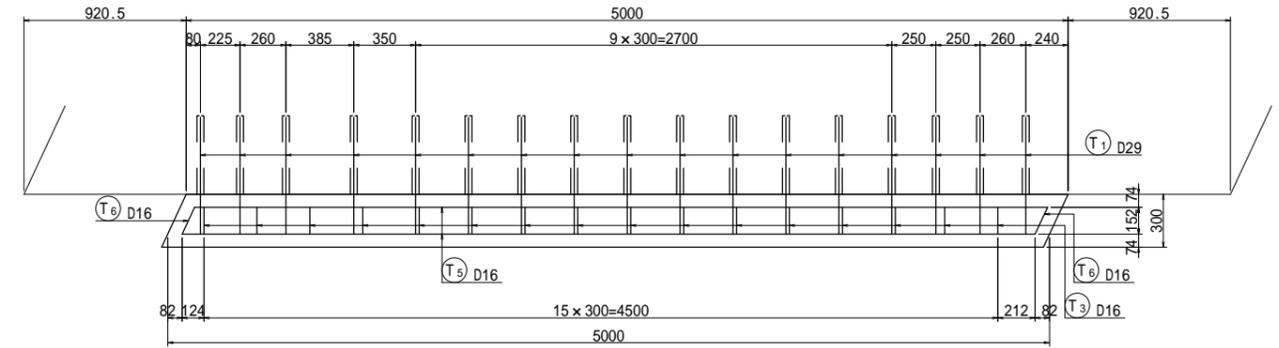


縁端拡幅配筋図 S=1:20

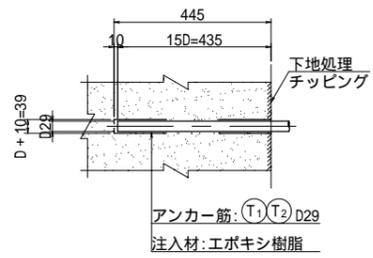
2 - 2



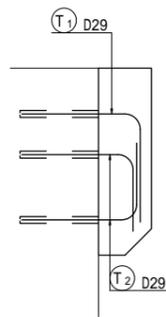
3 - 3



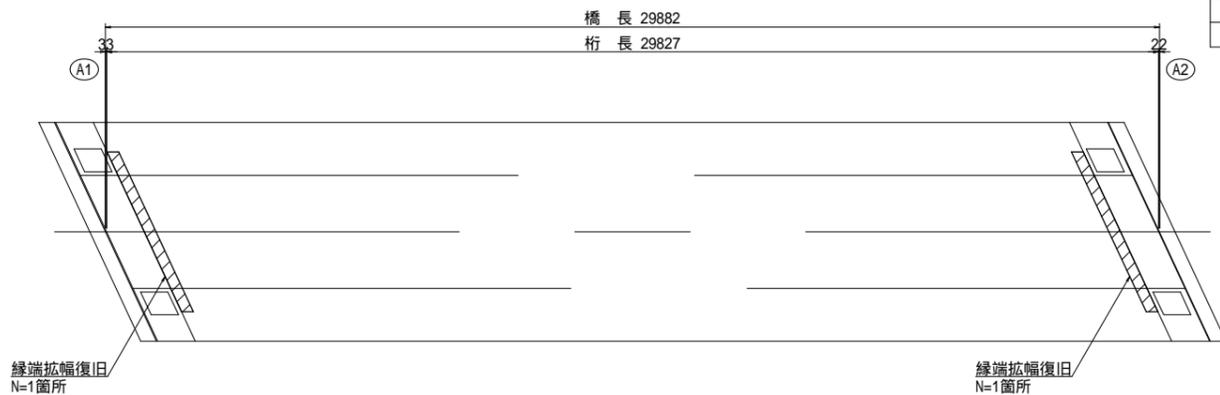
アンカー定着詳細図 S=1:10



アンカー筋組み立て図 S=1:20

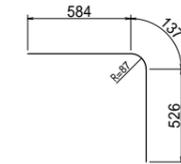


位置図

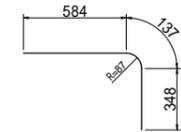


鉄筋質量表

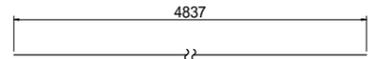
記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
T1	D29	1 250	17	5.04	6.30	107	┌
2	"	1 070	34	"	5.39	183	┌
3	D16	1 330	16	1.56	2.07	33	┐
4	"	1 270	16	"	1.98	32	┘
5	"	4 840	9	"	7.55	68	—
6	"	1 350	2	"	2.11	4	┐
7	"	1 290	2	"	2.01	4	┘
						431 kg	
鉄筋材質: SD345						橋台1基当り	
						D29	290 kg
						D16	141 "
						合計	431 kg
						橋台2基当り	
						D29	580 kg
						D16	282 "
						合計	862 kg



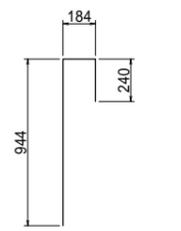
T1 17-D29 x 1250



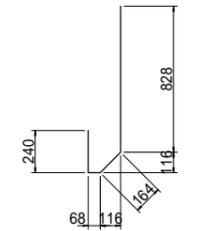
T2 34-D29 x 1070



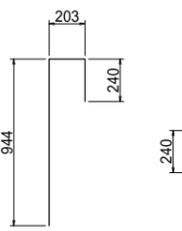
T5 9-D16 x 4840



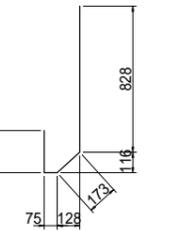
T3 16-D16 x 1330



T4 16-D16 x 1270



T6 2-D16 x 1350



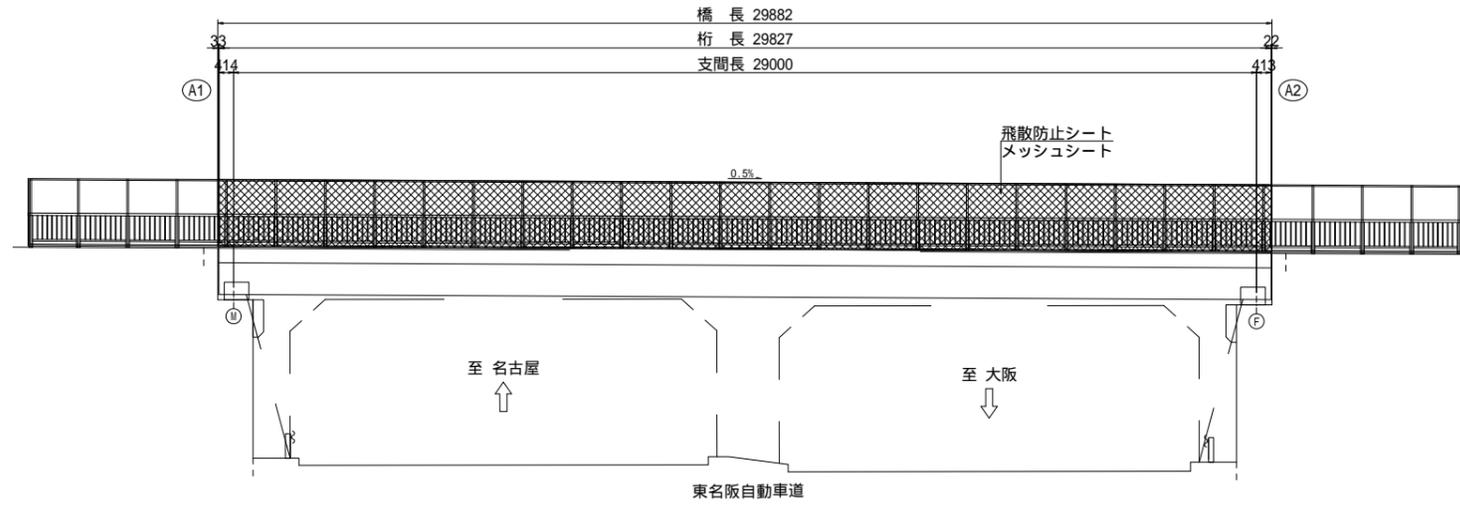
T7 2-D16 x 1290

注記 1. 各部寸法は、現地にて再度計測を行い決定すること。

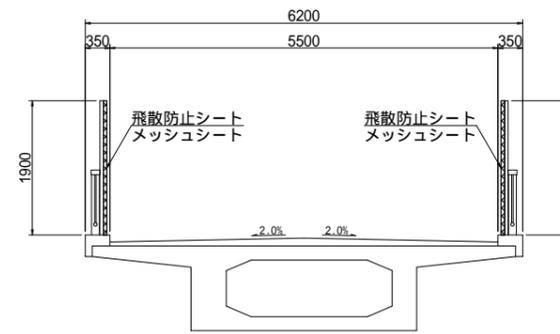
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事
図面名	住山橋 復旧図(その2)
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 29/32
会社名	
事業者名	龜山市土木課

住山橋 仮設図 縮尺 1:100

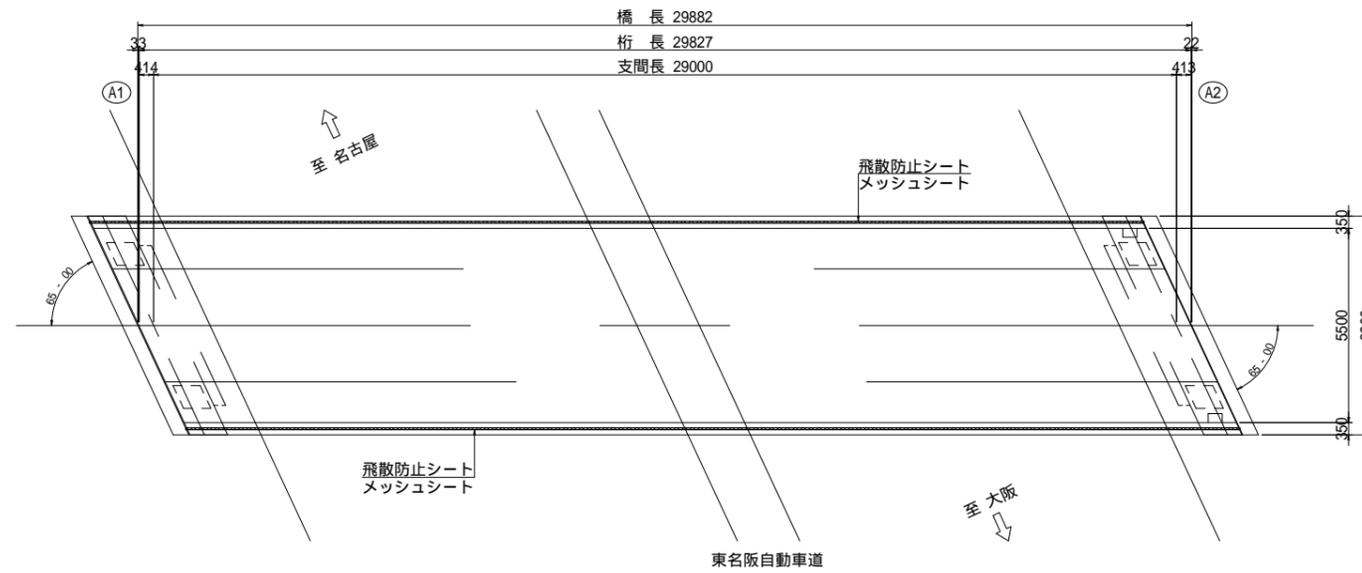
側面図



断面図 S=1:50



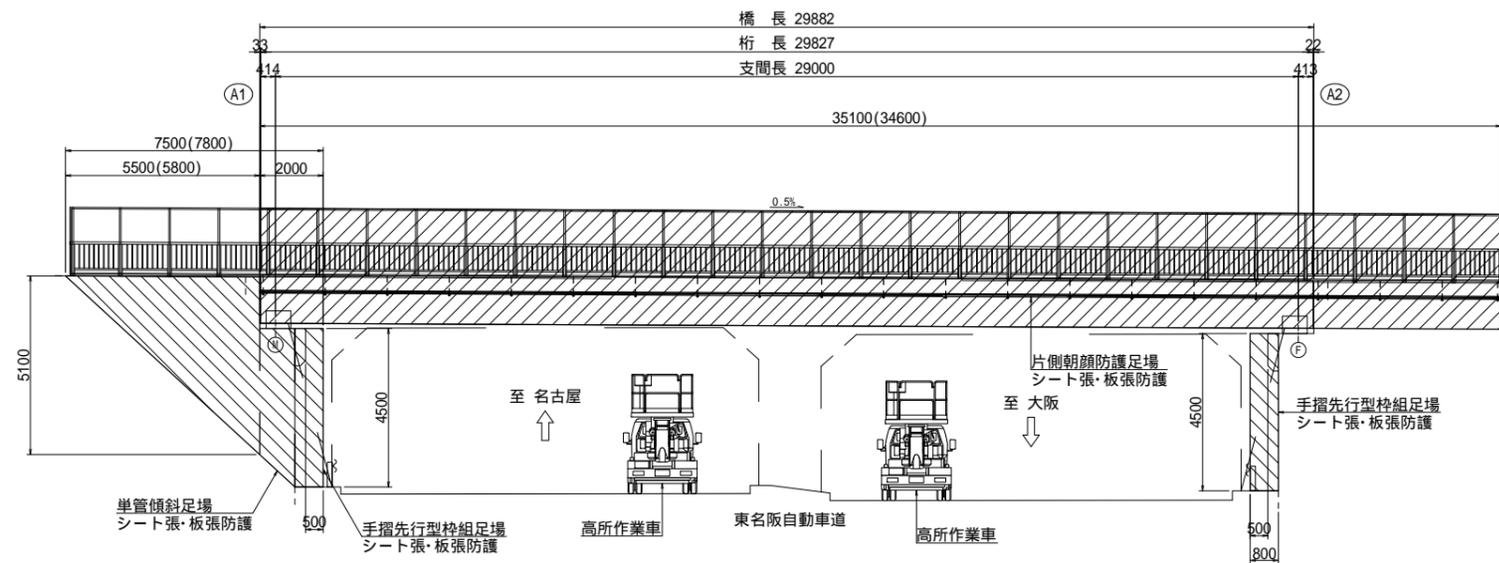
平面図



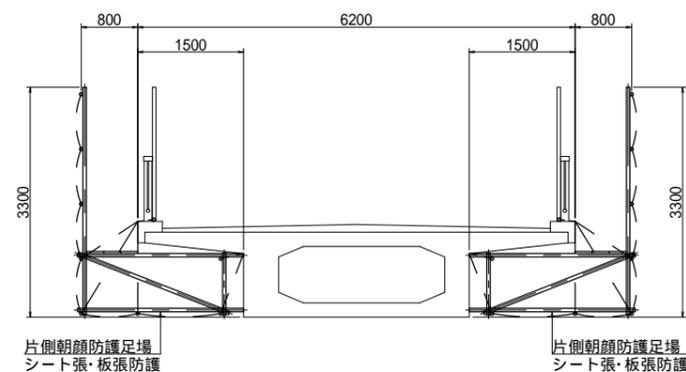
工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 仮設図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	30/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

住山橋 足場工図 縮尺 1:100 (参考図)

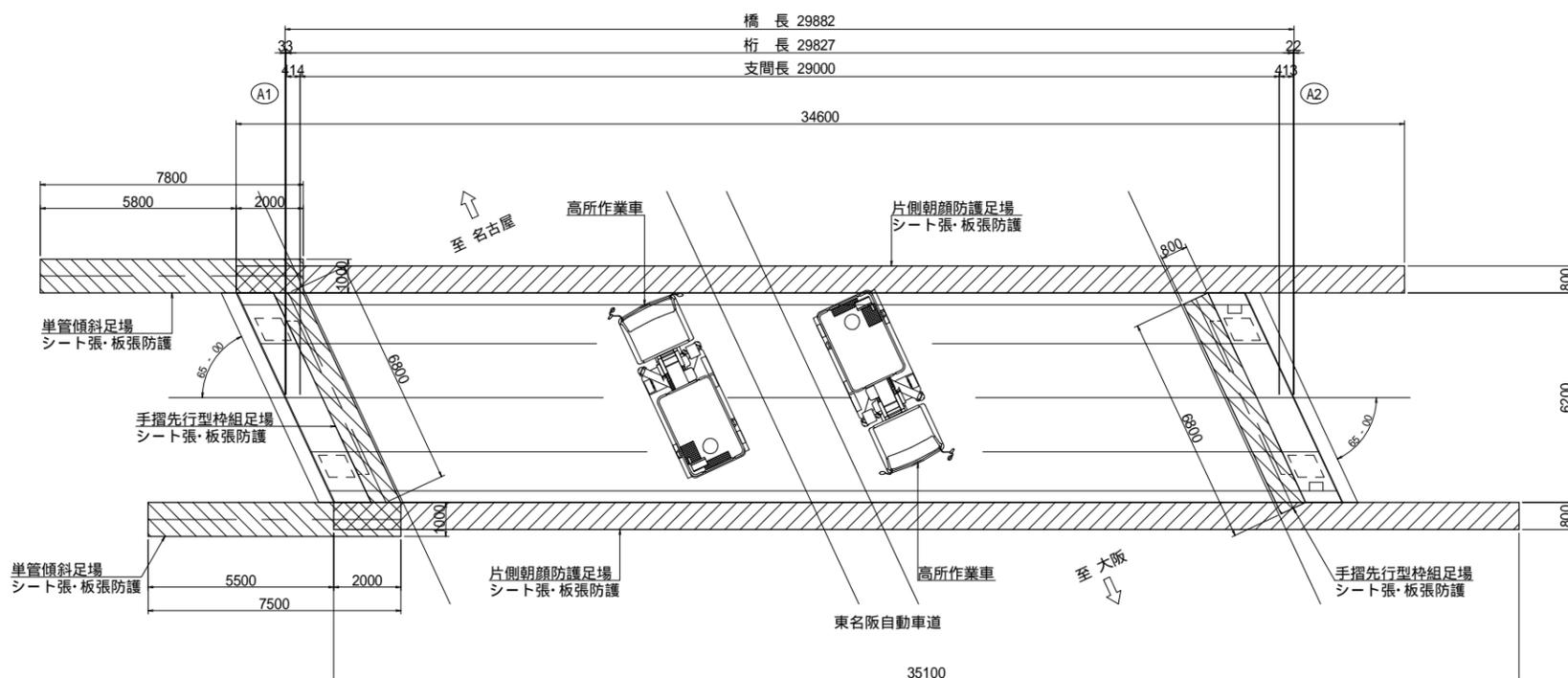
側面図



断面図 S=1:50

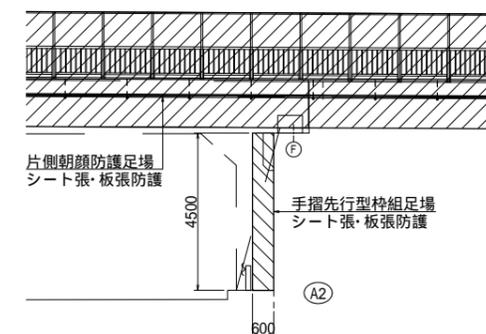


平面図



: 吊足場
 : 単管傾斜足場・手摺先行型枠組足場

側面図(支承防錆工終了後)

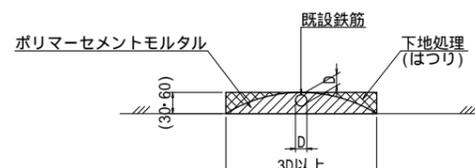
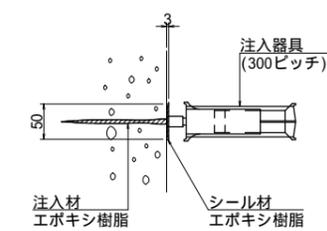
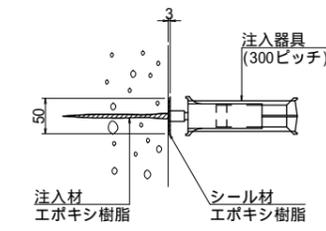
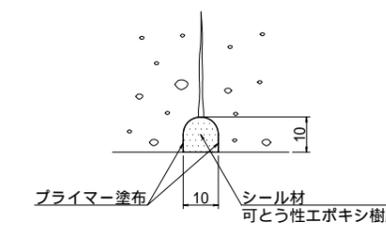


支承防錆工終了後は、壁前面の手摺先行型枠組足場幅を600mmにすること。

- 注記 1. 足場設置時は、現地の建築限界を確認の上、行うこと。
 2. 足場設置期間中、足場側面に下端位置を示す保安灯(すずらん灯)、
 頭上注意、桁下高を示す看板等を設置すること。
 3. 足場設置時、施工時には、桁下高等の注意を促す工事予告看板等を
 設置すること。

工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 足場工図(参考図)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	31/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		

住山橋 補修標準図 縮尺 -

適用	補修標準図1	断面修復	適用	補修標準図2	ひびわれ注入(1) 可とう性要求あり ASR用																																					
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">断面修復数量表 1m³当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>上部工</th> <th>下部工</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>断面修復材</td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td>m³</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>鉄筋防錆処理含む</td> </tr> <tr> <td>下地処理</td> <td></td> <td>m²</td> <td>33.3</td> <td>16.7</td> <td>はつり30・60mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注)1.露出した鉄筋は、電動ワイヤーカップ等で錆を除去して、鉄筋防錆処理を行うこと。 2.鉄筋のかぶり量が少なく、表面が劣化していると思われる箇所は、鉄筋の裏側までコンクリートをはつり落し断面修復を施すこと。 3.断面修復材は深さ30mm(上部工)、60mm(下部工)と仮定して算出。 4.はつりによる残材処理は断面修復材の1/2と仮定して算出。</p> </div> </div>	名称	規格	単位	上部工	下部工	摘要	断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m ³	1.0	1.0	鉄筋防錆処理含む	下地処理		m ²	33.3	16.7	はつり30・60mm以下		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">ひびわれ幅 0.2 W < 1.0</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">ひびわれ注入数量表 100m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂注入材</td> <td>エポキシ樹脂3種</td> <td>kg</td> <td>19.1</td> <td>比重1.15</td> </tr> <tr> <td>シール材</td> <td>エポキシ樹脂3種</td> <td>kg</td> <td>25.5</td> <td>比重1.70</td> </tr> <tr> <td>注入器具</td> <td></td> <td>本</td> <td>333</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注)1.樹脂注入量は注入器1本当りの容量50cc(0.06kg)より算出。 2.シール材は幅50mm、厚さ3mmとして算出。 3.ひびわれ注入の対象としてはクラック幅が0.2mm以上1.0mm未満のものとする。 4.注入器具の設置間隔は、300ピッチとした。</p> </div> </div>	名称	規格	単位	数量	摘要	樹脂注入材	エポキシ樹脂3種	kg	19.1	比重1.15	シール材	エポキシ樹脂3種	kg	25.5	比重1.70	注入器具		本	333	
名称	規格	単位	上部工	下部工	摘要																																					
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m ³	1.0	1.0	鉄筋防錆処理含む																																					
下地処理		m ²	33.3	16.7	はつり30・60mm以下																																					
名称	規格	単位	数量	摘要																																						
樹脂注入材	エポキシ樹脂3種	kg	19.1	比重1.15																																						
シール材	エポキシ樹脂3種	kg	25.5	比重1.70																																						
注入器具		本	333																																							
適用	補修標準図3	ひびわれ注入(2) 可とう性要求なし	適用	補修標準図4	ひびわれ充填																																					
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">ひびわれ幅 0.2 W < 1.0</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">ひびわれ注入数量表 100m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂注入材</td> <td>エポキシ樹脂1種</td> <td>kg</td> <td>19.1</td> <td>比重1.15</td> </tr> <tr> <td>シール材</td> <td>エポキシ樹脂1種</td> <td>kg</td> <td>25.5</td> <td>比重1.70</td> </tr> <tr> <td>注入器具</td> <td></td> <td>本</td> <td>333</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注)1.樹脂注入量は注入器1本当りの容量50cc(0.06kg)より算出。 2.シール材は幅50mm、厚さ3mmとして算出。 3.ひびわれ注入の対象としてはクラック幅が0.2mm以上1.0mm未満のものとする。 4.注入器具の設置間隔は、300ピッチとした。</p> </div> </div>	名称	規格	単位	数量	摘要	樹脂注入材	エポキシ樹脂1種	kg	19.1	比重1.15	シール材	エポキシ樹脂1種	kg	25.5	比重1.70	注入器具		本	333			<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">ひびわれ幅 1.0 W</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">ひびわれ充填数量表 100m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シール材</td> <td>可とう性エポキシ樹脂</td> <td>kg</td> <td>13.0</td> <td>比重1.30</td> </tr> <tr> <td>プライマー材</td> <td>エポキシ樹脂</td> <td>kg</td> <td>1.0</td> <td>標準0.5kg/m²使用</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注)1.ひびわれ充填の対象としては、クラック幅が1.0mm以上のものとする。 2.遊離石灰を伴ったクラック部分に運用する。</p> </div> </div>	名称	規格	単位	数量	摘要	シール材	可とう性エポキシ樹脂	kg	13.0	比重1.30	プライマー材	エポキシ樹脂	kg	1.0	標準0.5kg/m ² 使用			
名称	規格	単位	数量	摘要																																						
樹脂注入材	エポキシ樹脂1種	kg	19.1	比重1.15																																						
シール材	エポキシ樹脂1種	kg	25.5	比重1.70																																						
注入器具		本	333																																							
名称	規格	単位	数量	摘要																																						
シール材	可とう性エポキシ樹脂	kg	13.0	比重1.30																																						
プライマー材	エポキシ樹脂	kg	1.0	標準0.5kg/m ² 使用																																						

工事名	立谷橋ほか橋梁修繕工事		
図面名	住山橋 補修標準図		
作成年月日			
縮尺	-	図面番号	32/32
会社名			
事業者名	亀山市土木課		